



余市町

保存版

防災

ガイドマップ

令和6年2月修正



洪水

大きくゆれたら
すぐに避難!!



土砂災害



地震



津波

お問い合わせ先

余市町総務部総務課危機管理対策室防災係

〒046-8546 余市町朝日町26番地

電話：0135-21-2142 FAX：0135-21-2144

余市町防災ガイドマップについて

このガイドマップは、災害への日ごろの備えや大雨による洪水・土砂災害・地震などといった自然災害が起きたときにどのような避難行動をとればよいかを住民の皆さんにわかりやすく提供することを目的として作成したものです。

災害はいつ発生するかわかりません。いざというときに落ち着いた行動をとれるように、前もって家族全員で、ハザードマップの確認や「マイ・タイムライン」を作成しましょう。

目次

はじめに 1	避難する 10~14
防災・減災とは 2	マイ・タイムライン 15~16
災害を知る	わが家の防災メモ 17
<ul style="list-style-type: none"> 風水害 3 土砂災害 4 雪害 5 地震 6~7 津波 8 	ハザードマップ <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの見方 18~20 【風水害・土砂災害】 21~34 【地震・津波】 35~44
備える 9	情報収集 45~46

地域の防災・減災活動を進めていくためには、災害と地域の両方について知り、継続的に備えることが大切です。災害の想定は研究や技術の進展などによって更新されますし、地域の人や物も変化していきます。まずは、この冊子の新しい情報を確かめながら、自分や地域の備えについて見直してみましょう。そして、季節ごとに避難経路を確認するなど、日常の中に防災・減災のエッセンスを取り入れながら、無理なく備え続けていきましょう。

協力: 定池 祐季 氏

東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科 准教授

奥尻島で北海道南西沖地震を経験したことをきっかけに災害研究を志し、被災者支援、災害復興、地域防災に関する研究と防災教育の実践に取り組む。専門は災害社会学で、北海道胆振東部地震で被害を受けた厚真町をはじめ、各地で防災教育と心のケア、被災地支援活動にも携わっている。



▶ 防災・減災とは

防災、減災の考え方

災害の発生を防ぐことはできませんが、普段から災害について知り、備えていくことによって、被害を防いだり、小さく・少なく抑えたりすることができます。これが防災・減災の考え方になります。

自助・共助・公助とは

防災・減災に取り組んでいくためには、自助、共助、公助が下の図のように有機的に連携していくことが大切です。

自助 ... 「自分のいのちは、自分で守る」ために行う準備や行動を指します。

共助 ... 「地域のコミュニティやグループで助け合う」ことを指します。

公助 ... 「町や公的機関が個人やコミュニティの生命・財産や暮らしを守るために行う活動」を指します。

これら3つの要素をバランスよく組み合わせることで、災害に強い街をつくることができます

これらはそれぞれが重要な役割を果たすものであり、一つが欠けても防災・減災はうまく機能しません。だからこそ、自助、共助、公助の重要性を理解し、それぞれを適切に活用することが必要です。災害そのものを防ぐことは不可能ですが、私たちは自助、共助、公助の力を結集し、災害のリスクに立ち向かう準備を整え、それぞれの役割を理解し、行動に移すことでより安全で安心な街をつくることができます。



▶ 地域の力が救助に生きる

平成7年に発生した阪神・淡路大地震の震源に近い北淡町(現淡路市)や、平成26年の長野県の地震で被害を受けた白馬村では、ふだんの近所づきあいや防災活動を活かして、すばやい安否確認、救助活動が行われました。



▶ 災害を知る

台風や大雨 → 風水害

風水害の危険度

▶ 雨による危険度

	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
雨の降り方 1時間雨量 (mm)					
人の受ける イメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅の場合)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ほとんど影響なし	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

▶ 風による危険度

やや強い風 毎秒10m以上 15m未満	強い風 毎秒15m以上 20m未満	非常に強い風 毎秒20m以上 25m未満	非常に強い風 毎秒25m以上 30m未満	猛烈な風 毎秒30m以上
風に向かって歩きにくく、傘がささなくなる。高速運転中の車が強風に流される感覚を受ける。	風に向かって歩けなくなり転倒する人が出たり看板やトタン板が外れ始めたりします。	何かにつかまらなると立てなくなります。飛来物によって負傷するおそれがあります。	屋外での行動は危険です。看板が落下、飛散したり道路標識が傾いたりします。	樹木が倒れたり、走行中のトラックが横転したりします。倒壊する家屋もあります。

災害の危険度(警戒レベル)と避難情報

大雨や台風などで災害の可能性がある場合、段階的に気象情報や河川情報が発表され、余市町から避難情報が出されます。警戒レベルに応じた避難行動を確認し、自分にあてはめて避難のタイミングを考えておくことが大切です。

逃げ遅れゼロへ！ 警戒レベル4で全員避難！！

警戒レベル	避難情報など	町民の皆さんがとるべき行動	気象情報(気象庁)・河川情報(国土交通省)
警戒レベル1		気象情報などに注意して、災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報
警戒レベル2		避難に備え、ハザードマップなどにより、自ら避難行動を確認しましょう。	大雨・洪水注意情報 氾濫注意情報など
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難※1 (余市町が発令)	ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など、避難に時間のかかる人とその支援者は退避行動をとりましょう。	大雨・洪水警報、氾濫警戒情報 浸水キキクル(危険度分布) 洪水キキクル(危険度分布) など
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	避難指示 (余市町が発令)	速やかに避難行動をとりましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報、高潮特別警報 浸水キキクル(危険度分布) 洪水キキクル(危険度分布) 土砂キキクル(危険度分布) など
< 警戒レベル4までに必ず避難！ >			
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※2 (余市町が発令)	災害が発生・切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	大雨特別警報 氾濫発生情報 浸水キキクル(危険度分布) 洪水キキクル(危険度分布) 土砂キキクル(危険度分布) など

※1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
 ※2 可能な範囲で発令されるものであり、必ずしも発令されるものではないことに注意してください。

▶ 災害を知る

がけ崩れなど → 土砂災害

土砂災害の種類と前ぶれ現象

こんな「前ぶれ現象」に注意！

急に川の流が濁り流木が混ざり始める

雨が降り続けているのに川の水位が下がる

斜面から水が湧き出る

小石がパラパラ落ちてくる

地面にひび割れができる

地鳴り、山鳴りがする

土砂災害の種類

土石流

山や谷の土砂が大雨などにより濁流となって一気に流れ下る



がけ崩れ

大雨や地震により斜面が突然崩れ落ちる



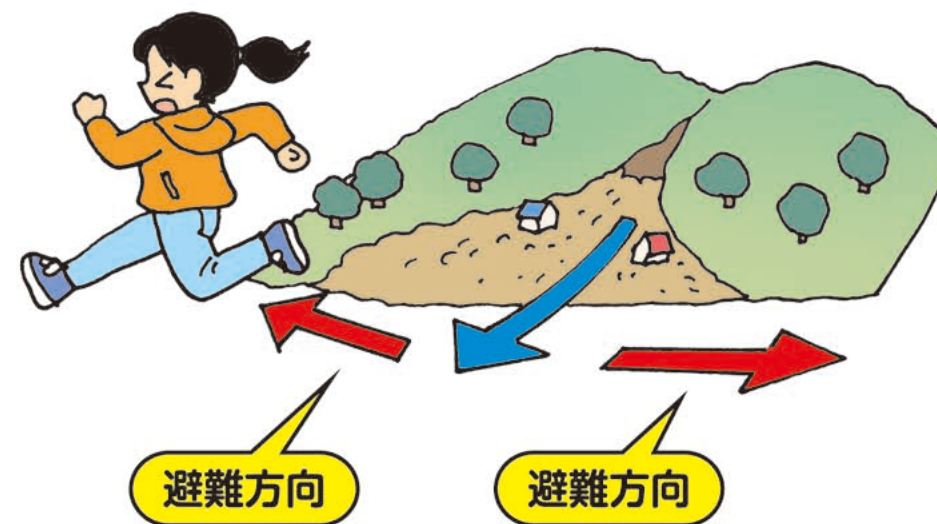
地すべり

地下水の影響と重力により、斜面の一部、あるいは全部がゆっくりと下方にすべる



土砂災害の避難行動のポイント

土砂災害は突然起こることが多いため、普段と様子が違うと感じたら早めに避難行動をとることが大切です。



- ・ 谷の出口や崖の下からいち早く逃げる
- ・ 逃げるときは、流れに対して、直角方向に逃げる

災害を知る

大雪や猛吹雪 → 雪害

雪害への備え

大雪や猛吹雪の際には、視界不良などによる自動車の多重衝突や、深い雪による立ち往生などが発生しやすくなります。気象情報をチェックし、雪に伴う警報や注意報が発表されたときは、外出を控えるようにしましょう。

また、着雪や強風などによって電線が切れるなどして突然停電になることがあります。冬季の停電時には明かりと食事に加えて防寒対策が欠かせません。非常用電源の確保に加えて、照明と調理用燃料や防寒用品を備えておきましょう。◀備蓄品は9ページをチェック▶

！
暴風雪時は
外出を控えること
が重要です

大雪注意報	大雪警報	風雪注意報	暴風雪警報
降雪の深さ 30cm/12時間 の降雪	降雪の深さ 50cm/12時間 の降雪	平均風速 11m/秒 (雪による視程障害を伴う)	平均風速 16m/秒 (雪による視程障害を伴う)

大雪・暴風雪発生時の行動とポイント

やむを得ず車で外出するときには

天候の急変などにより、車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。また、万一に備えて、飲料水や非常食、カイロなども用意しておくことが安心です。



歩行中や屋外作業中、運転時には

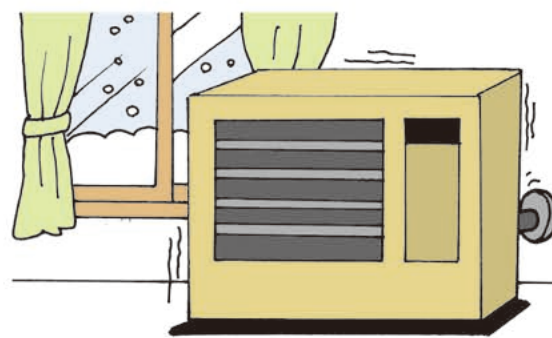
視界不良(ホワイトアウト)により、方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることがあるため、近くの商店やコンビニ、人家などの安全な場所へ避難し、天候の回復を待ちましょう。気象情報や道路情報も確認しましょう。暴風による飛来物にも注意が必要です。



家の中にいるとき

FF式暖房機などの給排気口が吹きだまりでふさがれると一酸化炭素中毒を起こす可能性があるため、給排気口を確認しましょう。

また、玄関が雪でふさがれて開かなくなることがあるので、吹きだまりの状況を見て除雪しておきましょう。



停電になったとき

停電時は暖房がつかえなくなるため、電気が無くても使えるポータブル灯油ストーブや毛布、カイロなどを活用し防寒対策を行いましょう。

また、懐中電灯などの照明や調理のための燃料を備えておきましょう。



Topics 1

車内で救助を待つ場合は、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に注意!

- 原則エンジンは停止し、防寒着や毛布で体温の低下を防ぐ。
- 一酸化炭素中毒を防ぐため、車が雪に深く埋もれた時にエンジンをかけ続けない。
- 止むを得ずエンジンをかける場合は、給排管出口が埋もれないよう定期的に確認する。
- 窓を開けていても風向きなどにより一酸化炭素中毒のおそれがあるので、安心しない。



災害を知る

地震

余市町の過去100年間で大きな揺れが観測された地震は、平成15年(2003年)十勝沖地震、平成30年北海道胆振東部地震で、震度4が2回記録されています。しかし、国や北海道によって将来想定されている地震では、さらに大きな揺れが予測されています。また、地震による津波のおそれもあります。有感地震が少ない余市町では、家具固定などの必要性を実感する機会が少ないため、自ら意識して備えをしておくことが大切です。家屋の倒壊や家具の転倒によって命を失ったりケガをしたりすることのないよう、日頃から備えておきましょう。

揺れの強さ

揺れの強さは震度で表されます。各震度の強さを知り、地震が起きたときの行動を確認しましょう。

震度3	震度4	震度5弱	震度5強
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。	ほとんどの人が揺れに驚く。	大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなさと感じる。	物につかまらなさと歩くことが難しい。落下物が増える。
震度6弱	震度6強	震度7	
立っていることが困難になり、固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	はわないと動けず、固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	

新しい緊急地震速報(長周期地震動階級の予想も追加して発表)

資料提供 気象庁ホームページ

緊急地震速報(警報)はこんな時に発表します!

発表条件	震度5弱以上を予想した場合 または 長周期地震動階級3以上を予想した場合	※長周期地震動階級の追加は2023年2月以降
対象地域	震度4以上を予想した地域 または 長周期地震動階級3以上を予想した地域	

最大震度5弱以上を予想した場合に加え、長周期地震動階級3以上を予想した場合にも緊急地震速報(警報)を発表します

長周期地震動階級の基準だけで発表することはまれですが、人命に係る重大な災害が起こるおそれがあるため、警報の基準に追加しています。ガタガタという強い揺れ(大きな震度)でも、ゆらゆらというゆっくりとした大きな揺れ(長周期地震動)でも**とるべき行動に違いはありません。**

猶予時間が限られることから、緊急地震速報を見聞きしたら**まずは身を守る行動**をとり、揺れが収まるまで行動を続けましょう。

長周期地震動とは

大きな地震で生じる周期の長いゆっくりとした大きな揺れを長周期地震動といいます。震源から数百km離れたところでも、高層ビルを長時間にわたって大きく揺らすことがあります。



階級	揺れの状況
4	●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 ●キャスター付き家具等が大きく動き、転倒するものがある。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
3	●立っていることが困難になる。 ●キャスター付き家具等が大きく動く。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
2	●室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなさと感じる。 ●物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ●キャスター付き家具等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
1	●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。 ●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。

どんなことが起こるの?

- 高いビルでは、長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり・落ちたり・移動したりします。
- 天井の落下、スプリンクラーの故障、エレベータの障害などが過去の地震で実際におきています。
- 2011年の東北地方太平洋沖地震のときには、地震の発生場所から遠く離れた東京でも高いビルが大きく揺れ、被害が発生しました。

リンク https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eew202301/eew_202301.pdf

- 緊急地震速報は、地震の発生直後に得られた観測データを元に各地の揺れの強さを速やかに予測し、可能な限り素早く知らせるものです。
- 震度5弱以上を予想した場合または、長周期地震動階級3以上を予想した場合に、震度4以上を予想した地域または長周期地震動階級3以上を予想した地域に緊急地震速報(警報)が発表されます。
- 情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が**数秒から数十秒**しかないため、すみやかに身の安全を確保することが大切です。

▶ 災害を知る

地震

地震発生時の行動

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。



緊急地震速報を見聞きしたら身を守る



落ちてくる物、倒れてくる物から身を守る



揺れが収まってから消火確認



割れたガラスなどでけがをしないよう注意する



近隣で協力し、近所の安否確認などを行う



自宅で生活できない場合は避難所へ



- ・引き続き、地震に注意する
- ・気象情報などにも気をつける

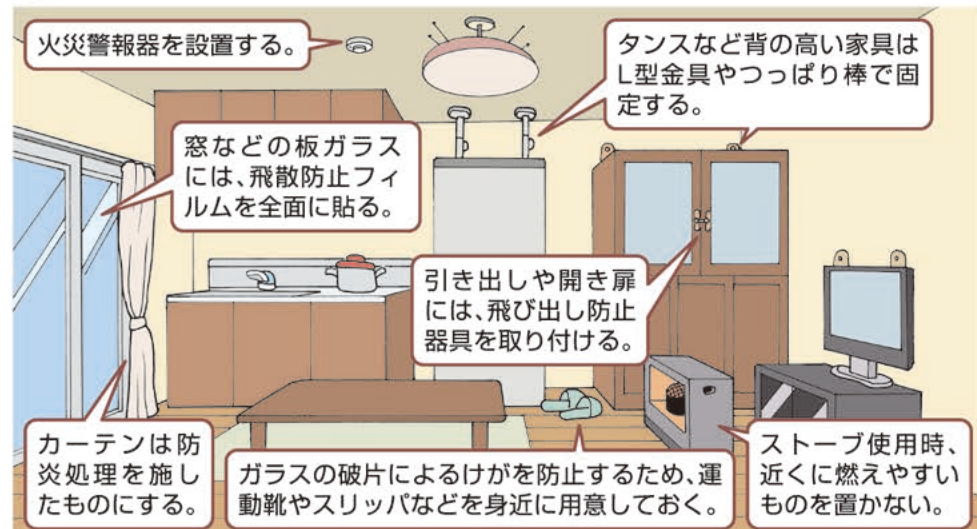
海の近く、津波浸水想定区域内で大きな揺れを感じたら

「少しでも早く、少しでも高いところへ」避難！

津波警報などが解除されるまで絶対に戻らない

室内の安全対策

▶ 災害に備えて室内を点検

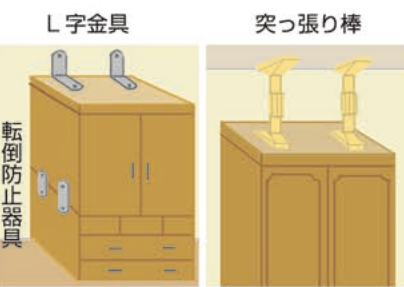


安全のために、以下のようなことも大切です

- ・大きな家具は人の出入りの少ない部屋にまとめて置くようにする。
- ・玄関や廊下に家具や荷物を置かない。(避難時の妨げになる。)
- ・高齢者や子供のいる部屋や寝室には、倒れやすい家具は置かない。

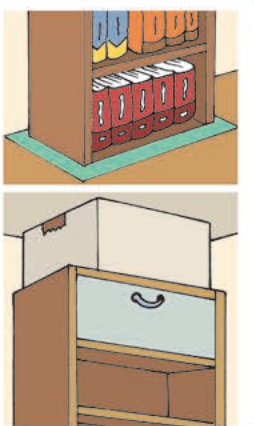
▶ 家具の転倒を防ぐ

タンスや本棚などはL字金具で固定する。突っ張り棒は、耐震用粘着マットや家具転倒防止板などと併用する。



○ すぐできる転倒防止対策

- ・重い物を下に、軽い物を上に収納する。
- ・滑り止めシートの上に家具を置き、天井との隙間が2センチ以内になる箱を用意し、箱の下に粘着マットを敷き、家具と一体化する。
- ・ドアや寝ている場所に家具が倒れないように配置を見直す。



▶ 災害を知る

津波

津波警報・注意報の種類

津波による災害発生が予想される場合には、地震発生後約3分を目標に気象庁から大津波警報、津波警報、津波注意報が予報区単位で発表されます。その場合には、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどが津波情報として発表されます。

気象庁から発表される「津波の高さ」は海岸付近での高さを指します。数十センチの津波でも速い流れに巻き込まれたり、漂流物が直撃したりすると危険です。また、陸地を駆け上がった高さ(遡上高)は地形などの影響により、発表される「津波の高さ」よりもはるかに高い地点まで達することがあるので注意が必要です。



種類	予想される津波の高さ		想定される被害ととるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報(特別警報)	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	巨大な津波により木造家屋が全壊・流失し、人は津波の流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる場合は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。
	10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
津波警報	5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)	高い	標高の低いところでは津波による浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる場合は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。
	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)		
津波注意報	1m (20cm<予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが出し、小型船舶が転覆する。海の中にいる人はただちに海から上がり、海岸から離れる。

めったに起こらない大きな地震が発生したときには、津波がくると考えましょう。

「大きくゆれたら、すぐに避難！」

Topics 2

札幌管区気象台からの情報コーナー

余市町で平成8年以降に観測された地震

余市町では、平成8年に朝日町(役場庁舎内)と浜中町(モイレ台)に震度計が設置されました。

※震度5~7観測データなし。(震度計設置後の大きな地震)

震度(余市町)	発生日時	震央地名
震度3	平成15年9月	十勝沖(十勝沖地震 余震)
	平成24年8月	十勝地方南部
	平成28年1月	浦河沖
震度4	平成29年7月	胆振地方中東部
	平成30年9月	胆振地方中東部(胆振東部地震)

※平成5年に発生した北海道南西沖地震では、震度4~5と推定されています。

後志地方北部で津波を観測した地震



▶ 備える


『非常持出品』や『備蓄品』の用意

▶ **非常持出品** / すぐに使う物、自分や家族にとって必要な物を用意しましょう。

基本品目の例

<input type="checkbox"/> 飲料水 	<input type="checkbox"/> 非常食 	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 	必要に応じて準備しましょう <input type="checkbox"/> 予備鍵(家・車等)・印鑑 <input type="checkbox"/> 予備メガネ・コンタクトレンズ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロなどの防寒用品 <input type="checkbox"/> クリームなどの保湿グッズ <input type="checkbox"/> 生理用品・おりものシート <input type="checkbox"/> 子ども用おむつ/大人用おむつ <input type="checkbox"/> 介護用品・入れ歯 <input type="checkbox"/> アレルギー対応食品 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・ほ乳瓶・離乳食 <input type="checkbox"/> 補聴器・イヤーマフ、耳栓 <input type="checkbox"/> 母子手帳・介護保険証・障害者手帳
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・予備電池 	<input type="checkbox"/> 貴重品 	<input type="checkbox"/> 救急セット 	
<input type="checkbox"/> 持病薬・常備薬・お薬手帳 	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ・衛生用品 	<input type="checkbox"/> 汎用性の高いもの 	

▶ **備蓄品** / 最低3日分の準備を心がけましょう。

飲料水 	非常食 	燃料 	その他 
<input type="checkbox"/> ペットボトルや貯水した給水用ポリタンク (1人1日3リットルを目安)	<input type="checkbox"/> お米 (レトルト・アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料 <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・飴	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料	<input type="checkbox"/> 生活用水 <input type="checkbox"/> 寝袋・毛布 <input type="checkbox"/> ポータブルストーブ (電池式・ガス式) <input type="checkbox"/> 各種アウトドア用品

ローリングストック法を実践しましょう!

ふだんから使っている缶詰やレトルト食品、乾麺や乾物などの保存食を少し多めに買って置き、食べた分を買い足すローリングストック法を実践すると、災害時にもふだんの食生活を保ちやすくなります。



Topics 3 災害時における感染症対策

災害時には感染症の拡大リスクが高まります。特に避難所では衛生状態を保つことが大切です。飛沫感染や空気感染によって拡大するおそれがあるため、感染症に「自分がかからない」ように手洗いを、かかっても「他人にうつさない」ために咳エチケットなどを行いましょう。



▶ 避難する

避難の具体的な行動

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

行政が指定した避難場所への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等



小・中学校



公民館

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



親戚・知人宅

普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



旅館



ホテル

屋内安全確保

次の「3つの条件」を確認し自宅等に留まることが可能か判断しましょう。①自宅などが家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない、②浸水深より居室が高い、③水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分にある。(細部はP12の「避難行動をフローでチェック」を確認してください。)

--- 想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

▶ 避難する

要配慮者（避難行動要支援者）

要配慮者とは、高齢者や障がい者、難病患者、妊産婦や乳幼児など災害時に特に配慮を必要とする方のことをいいます。

また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方は避難行動要支援者として位置付けられています。

避難行動や避難所生活などの様々な場面で助け合い、支え合いましょう。

介助が必要な方



複数人で対応する。車椅子や担架を使うほか、緊急時はおぶって移動する。

目や耳の不自由な方



音声や手話、メモなど、その人に伝わる方法で情報を伝える。

観光客、外国人の方



土地勘がない人を避難場所などへ誘導する。言葉が通じない場合は身振り手振り等で伝える。

普段からの交流



災害時にスムーズな支援をするためには、日頃のコミュニケーションが大切。

避難行動要支援者への支援の取組

▶ 避難行動要支援者名簿の作成

- 町が高齢者や障がい者など災害時に特に支援を必要とする方の名簿を作成します。
- 消防、警察、区会、民生委員などの支援者間で名簿を共有します。

▶ 個別計画の作成

- 個人ごとに必要とする支援の内容を確認します。
- 災害時に支援をする支援者を複数名マッチングします。

民生委員、区会、社会福祉施設などと協力し取組を進めます！

平常時



- 避難行動要支援者名簿の作成
- 支援者への名簿提供
- 必要とする支援内容の確認
- 支援者のマッチング

災害時



- 行政は多様な手段で災害情報を伝達
- 名簿、個別計画の情報をもとに支援を実施
- 支援者は自身の安全を第一として、可能な範囲で支援を実施する

避難する場所の種類と役割を理解しよう

指定緊急避難場所

▶ 危険から逃れるために避難をする場所

- 災害発生時や災害発生のおそれがある場合の避難先

★危険から逃れるための指定緊急避難場所は、「地震」「津波」「洪水」「土砂災害」などの災害の種類別に指定しています。あらかじめ確認しておきましょう！

指定避難所

▶ 避難生活を送る施設

- 災害の危険から逃れるため、または災害により家に戻れなくなった場合の滞在先
- 指定緊急避難場所を兼ねている施設もあります

(例) 小学校は「指定緊急避難場所」と「指定避難所」を兼ねていますが、グラウンドは滞在することができないため「指定緊急避難場所」にのみ指定しています。

福祉避難所

福祉避難所は、高齢者、障がいのある方、妊産婦や乳幼児などの要配慮者が滞在し、助言などの支援が受けられる施設です。

町では、町内の社会福祉施設などと協定を締結し、福祉避難所を指定しています。

緊急時には、町が開設の必要性を判断し、施設管理者に開設を要請します。まずは近くに開設された指定避難所に移動し、障がいなどの情報をお伝えください。

利用対象者

高齢者や障がい者、妊産婦や乳幼児、病弱者など、避難所生活に特別な配慮を必要とする方とその家族・介助者。

津波避難ビル

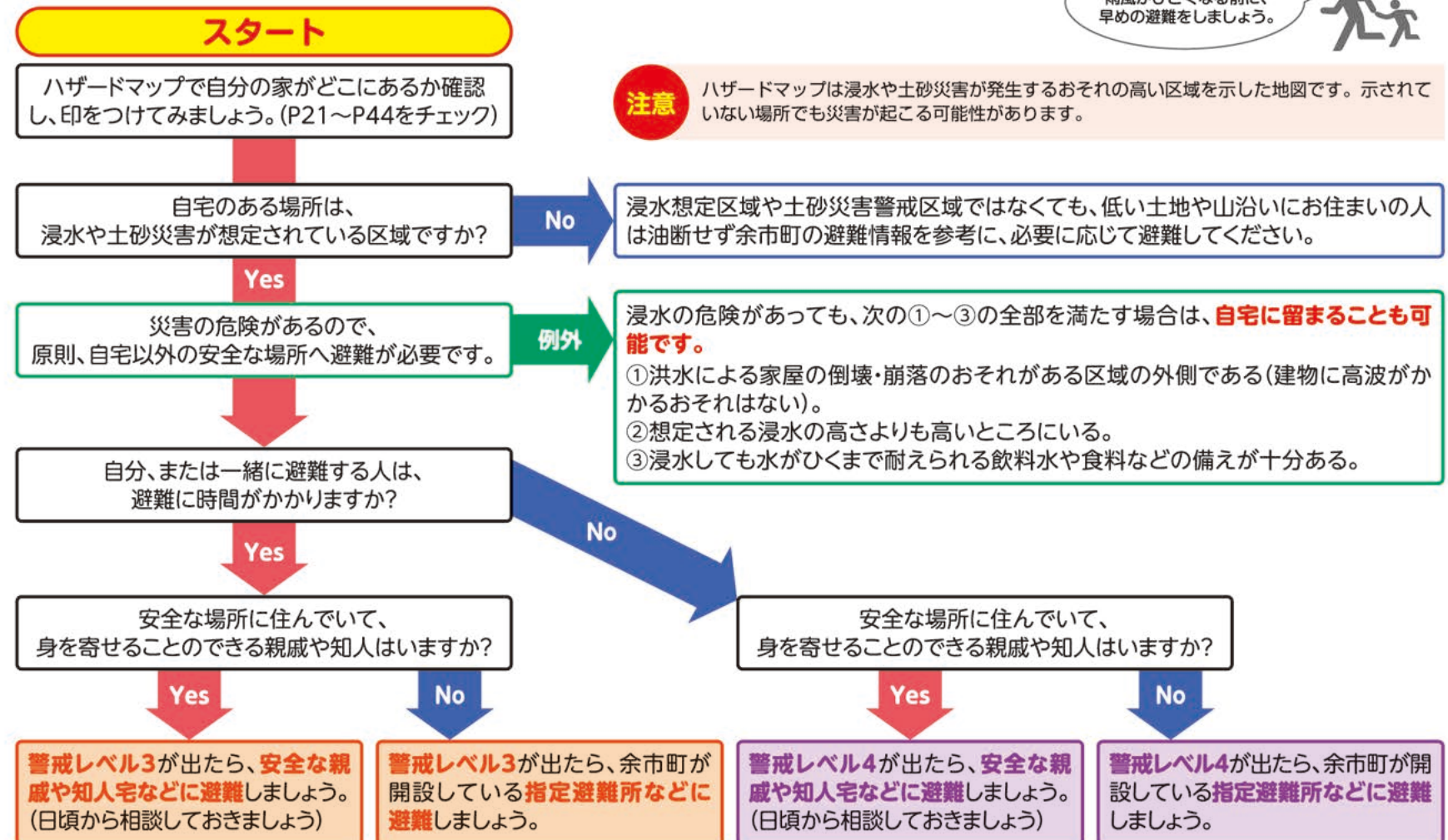
津波避難ビルは、津波発生時や津波発生のおそれがある場合に緊急避難場所として利用する施設です。

町では、町内の民間施設などと協定を締結し、津波避難ビルを指定しています。

緊急時には、正面入口もしくは屋外階段を利用し、できる限り上の階へ避難してください。

避難行動をフローでチェック

自宅の災害リスクと、自分のとるべき避難行動を、必ず確認しておきましょう。



マイ・タイムライン

マイ・タイムライン(避難行動計画)作成シート【記入例】

使い方

内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的にマイ・タイムラインの内容や避難行動の確認を行きましょう。

ステップ① ハザードマップで身近な「災害の危険」を確認

あなたの住んでいる地域は？(P21・P22 をチェック)	住んでいる場所の浸水深は？
<input checked="" type="checkbox"/> 浸水想定区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域	余市 川 が氾濫した場合のわが家の地区の浸水予測は 0.5~3.0 m

ステップ② 避難先の確認

ハザードマップを見て、どちらの区域にも当てはまらない場合は空欄

災害の種類	避難先(避難所、親戚宅、友人宅)	避難先までの移動手段・時間
洪水(P21~P34)	福祉センター	徒歩 60 分・車 <input type="text"/> 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small> 自転車 20 分
土砂災害(P21~P34)		徒歩 <input type="text"/> 分・車 <input type="text"/> 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small>
地震(P35~P44)	息子の家	徒歩 10 分・車 <input type="text"/> 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small> 自転車 5 分
津波(P35~P44)	中央公民館	徒歩 <input type="text"/> 分・車 25 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small>

対象外の場合は空欄

ステップ③ 家庭の状況の確認

避難に支援を必要とする人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
---------------------------------	--

ステップ④ 避難行動の確認

「有」の場合は、事前に、家族の方や近隣の方に相談し、協力を求めて下さい

注意すべきこと	※警戒レベル	行政からの避難情報	私(と家族)のやるべき行動
大雨等発生の可能性 天気予報や気象庁が発表する情報、河川の水位に注意！	警戒レベル1		<input type="checkbox"/> テレビやラジオで気象情報を確認する <input checked="" type="checkbox"/> 避難先、移動手段、移動時間を再確認する <input checked="" type="checkbox"/> 避難するときに持っていくものを確認する(P9参照) <input type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える ※河川や水田に近づくのはやめましょう
余市町が発令する避難情報に注意！ 気象庁が発表する情報や、河川の水位に注意！	警戒レベル2		
	警戒レベル3	高齢者等避難が発令 河川：避難判断水位に到達 氾濫警戒情報発表	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める <input checked="" type="checkbox"/> どこに避難するか、家族や親戚に伝える。 <input checked="" type="checkbox"/> 連絡する家族や親戚の電話番号 0135-00-0000
	警戒レベル4	避難指示が発令 河川：氾濫危険水位に到達 氾濫危険情報発表	<input type="checkbox"/> 危険な場所から全員避難する <input type="checkbox"/> 近所の人に声をかけて一緒に避難する。 <input type="checkbox"/> 声をかける相手 <input type="text"/>
災害発生	警戒レベル5	緊急安全確保 河川：氾濫が発生！ 氾濫発生情報発表	命の危険直ちに安全確保 命を守る最善の行動をとる 屋内の安全な場所への避難

わが家の避難するタイミングは 警戒レベル3 警戒レベル4

※警戒レベルの詳細や避難するタイミングについては3ページをご覧ください。

マイ・タイムライン(避難行動計画)作成シート

使い方

内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的にマイ・タイムラインの内容や避難行動の確認を行きましょう。

ステップ① ハザードマップで身近な「災害の危険」を確認

あなたの住んでいる地域は？(P21・P22 をチェック)	住んでいる場所の浸水深は？
<input type="checkbox"/> 浸水想定区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域	川 が氾濫した場合のわが家の地区の浸水予測は <input type="text"/> m

ステップ② 避難先の確認

災害の種類	避難先(避難所、親戚宅、友人宅)	避難先までの移動手段・時間
洪水(P21~P34)		徒歩 <input type="text"/> 分・車 <input type="text"/> 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small>
土砂災害(P21~P34)		徒歩 <input type="text"/> 分・車 <input type="text"/> 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small>
地震(P35~P44)		徒歩 <input type="text"/> 分・車 <input type="text"/> 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small>
津波(P35~P44)		徒歩 <input type="text"/> 分・車 <input type="text"/> 分 <small>▶その他の移動手段を記入してください</small>

ステップ③ 家庭の状況の確認

避難に支援を必要とする人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
---------------------------------	---

ステップ④ 避難行動の確認

注意すべきこと	※警戒レベル	行政からの避難情報	私(と家族)のやるべき行動
大雨等発生の可能性 天気予報や気象庁が発表する情報、河川の水位に注意！	警戒レベル1		<input type="checkbox"/> テレビやラジオで気象情報を確認する <input type="checkbox"/> 避難先、移動手段、移動時間を再確認する <input type="checkbox"/> 避難するときに持っていくものを確認する(P9参照) <input type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える ※河川や水田に近づくのはやめましょう
余市町が発令する避難情報に注意！ 気象庁が発表する情報や、河川の水位に注意！	警戒レベル2		
	警戒レベル3	高齢者等避難が発令 河川：避難判断水位に到達 氾濫警戒情報発表	<input type="checkbox"/> 高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める <input type="checkbox"/> どこに避難するか、家族や親戚に伝える。 <input type="checkbox"/> 連絡する家族や親戚の電話番号 <input type="text"/>
	警戒レベル4	避難指示が発令 河川：氾濫危険水位に到達 氾濫危険情報発表	<input type="checkbox"/> 危険な場所から全員避難する <input type="checkbox"/> 近所の人に声をかけて一緒に避難する。 <input type="checkbox"/> 声をかける相手 <input type="text"/>
災害発生	警戒レベル5	緊急安全確保 河川：氾濫が発生！ 氾濫発生情報発表	命の危険直ちに安全確保 命を守る最善の行動をとる 屋内の安全な場所への避難

わが家の避難するタイミングは 警戒レベル3 警戒レベル4

※警戒レベルの詳細や避難するタイミングについては3ページをご覧ください。

わが家の防災メモ

家族の避難場所

▼家族で話し合い、書き込んでおきましょう！

避難所	
避難場所	
家族が離れた時の 集合場所	

家族・親戚・知人の連絡先・避難先

氏名	生年月日	血液型	持病	会社・学校名・携帯電話番号など	避難先
	年 月 日				

医療機関など

連絡先	電話番号

緊急連絡先など

連絡先	電話番号

連絡先・連絡方法の確認を！

緊急時連絡先

役場

[問い合わせ、災害の発生など]

余市町役場 0135-21-2111

消防

[火災と救急・救助⇒119]

余市消防署 0135-23-3711

警察

[事件・事故⇒110]

余市警察署 0135-22-0110

災害用伝言サービス（災害時の安否確認）

災害用伝言ダイヤル「171」は、災害発生時に電話が繋がりにくい場合でも、電話番号別にメッセージの録音や再生ができるサービスです。

伝言の録音方法

171 をダイヤル

ガイダンスが流れます。

録音の場合 1

ガイダンスが流れます。

被災地の方の電話番号
(市外局番から)

伝言の再生方法

171 をダイヤル

ガイダンスが流れます。

再生の場合 2

ガイダンスが流れます。

被災地の方の電話番号
(市外局番から)

※災害用伝言板（web171）では、携帯電話やパソコンなどからインターネットを利用して電話番号別に安否情報（伝言）の登録や確認を行うことができます。

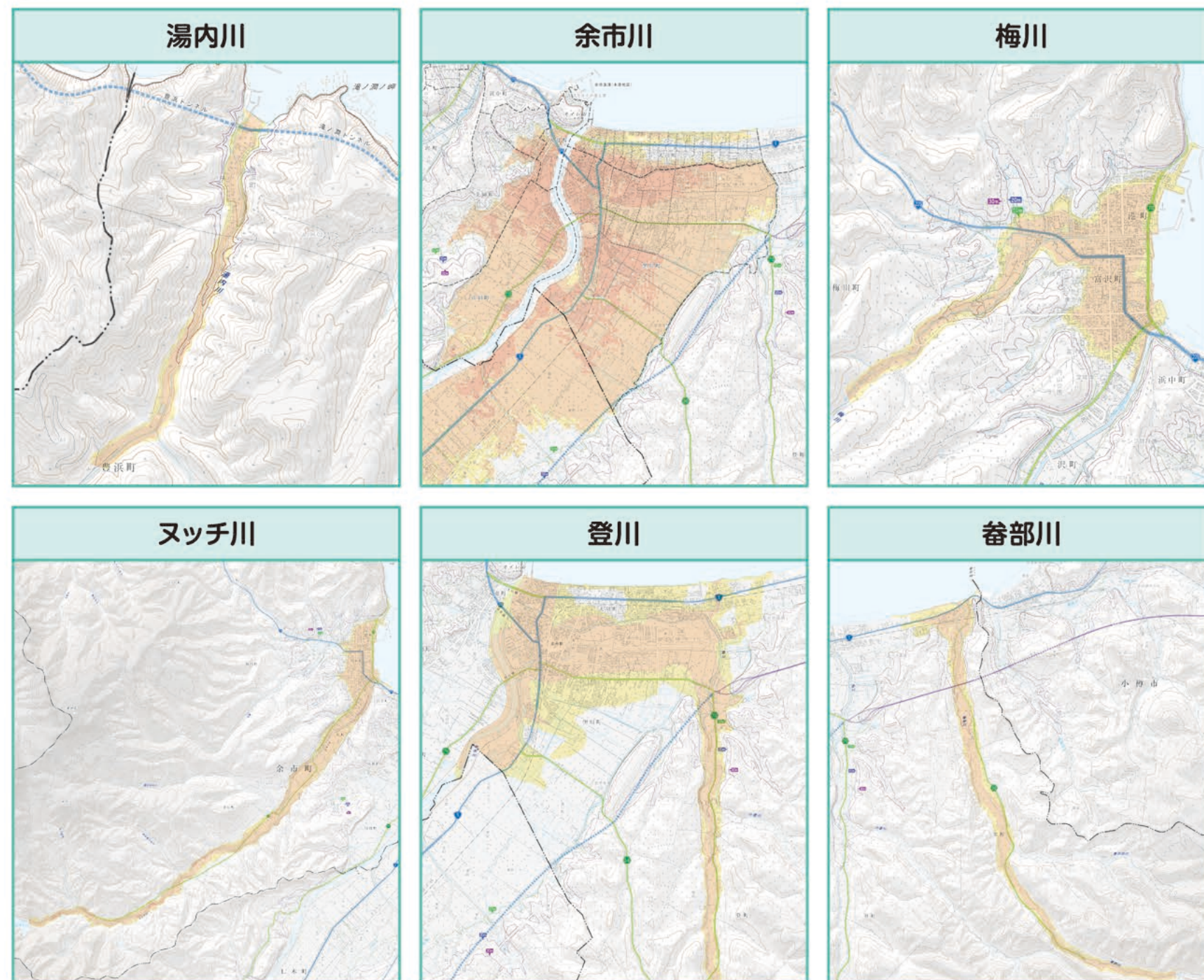
ハザードマップの見方

洪水ハザードマップ

平成30年、北海道から「新たな洪水浸水想定区域」が公表されました。これにより、余市川の「1000年」に1回程度発生が予想される降雨（想定最大規模降雨）による浸水想定区域が示されました。（令和3年7月、修正済み）

余市川以外の河川についても、令和4年5月に想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域が示されました。

町内主要河川の「1000年」に1回程度の降雨による洪水浸水想定区域



洪水により浸水する深さ（地面から水面までの高さ）を色分けして示しています



P21～P34のマップには、町内のすべての河川の「想定最大規模降雨」による浸水想定区域を掲載しています。






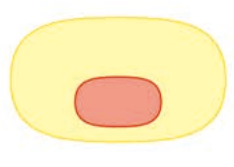
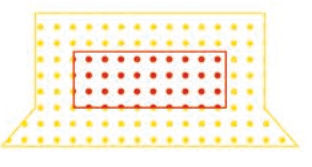
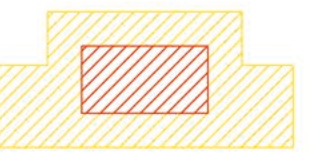
キリトリ線



ハザードマップの見方

土砂災害ハザードマップ

▶ P21~P34で示す『土砂災害(特別)警戒区域』について

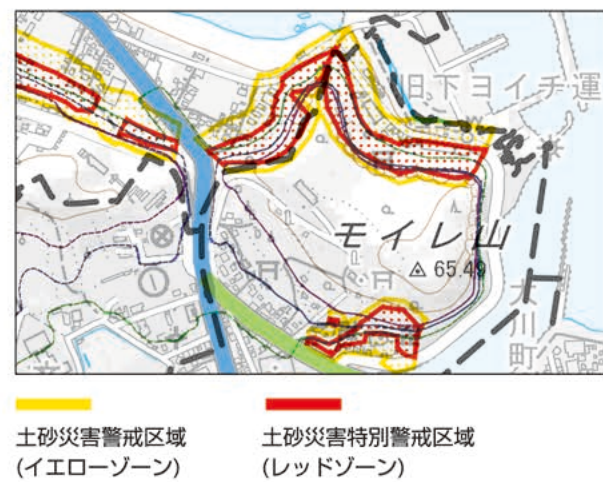
	土石流	がけ崩れ	地すべり
	山や谷の土砂が大雨などにより濁流となって一気に流れ下る 	大雨や地震により斜面が突然崩れ落ちる 	地下水の影響と重力により、斜面の一部、あるいは全部がゆっくりと下方にすべる 
資料提供 NPO 法人土砂災害防止広報センター	資料提供 NPO 法人土砂災害防止広報センター	資料提供 NPO 法人土砂災害防止広報センター	資料提供 NPO 法人土砂災害防止広報センター
土砂災害(特別)警戒区域	【土石流】 	【がけ崩れ】 	【地すべり】 

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)とは

土砂災害が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことです。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

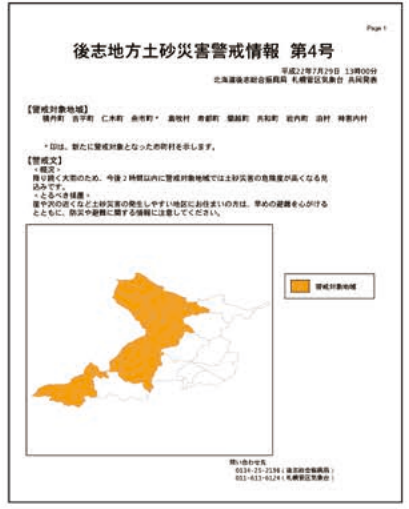


▶ 『土砂災害警戒情報』に注意!

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が非常に高まったときに北海道と気象台が共同で発表する防災情報です。

町の高齢者等避難、避難指示や自主避難の判断に活用されています。

平成22年7月には余市町にも発表されており、実際に被害が発生しました。

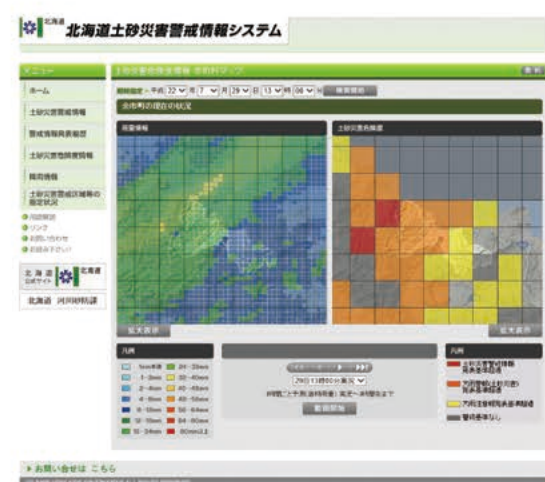


※土砂災害警戒情報 (平成22年7月29日発表)

▶ 土砂災害対策

町の災害対応では、『北海道土砂災害警戒情報システム』を活用しています。

このシステムにより、町内のなかでも特に土砂災害の危険度が高まっている区域を特定し、その地域に避難情報などを発令します。



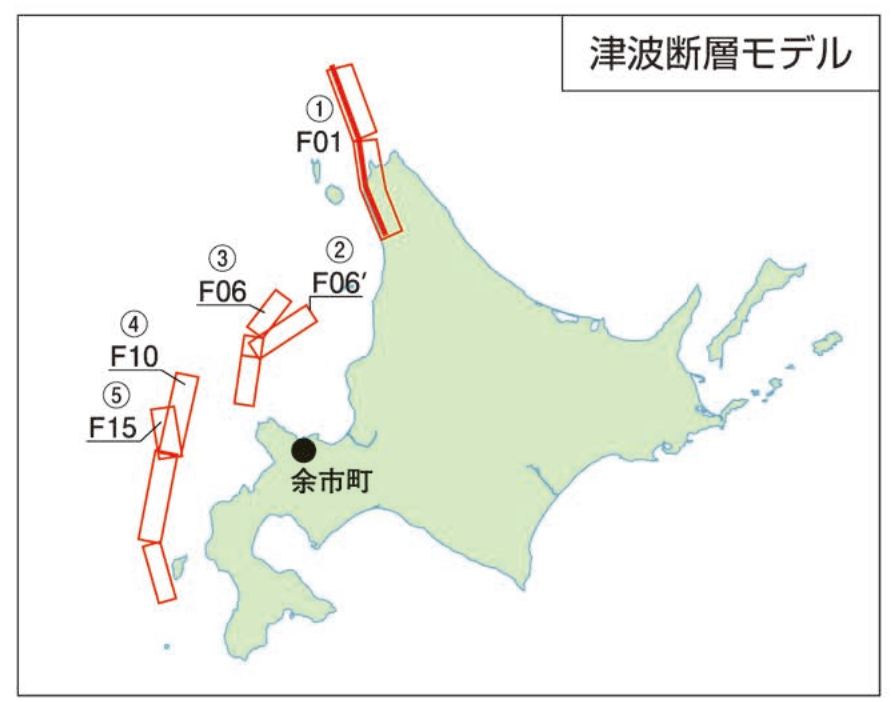
津波ハザードマップ

▶ P35~P44で示す『津波浸水想定区域』について

平成29年2月、北海道から「新たな津波浸水想定」が公表されました。これは東日本大震災の発生を踏まえた最大クラスの津波を想定したものであり、最大クラスの津波とは、数100年から1,000年に1回程度の頻度で発生する、甚大な影響を及ぼす津波を指しています。

余市町に影響が大きいと考えられる右図の5つの津波断層モデルについて、津波浸水シミュレーションが実施されました。

P21~P34ではそのシミュレーション結果に基づき津波浸水想定区域の範囲を掲載し、P35~P44では津波浸水想定区域の範囲及び浸水深を掲載しています。



▶ 避難方向

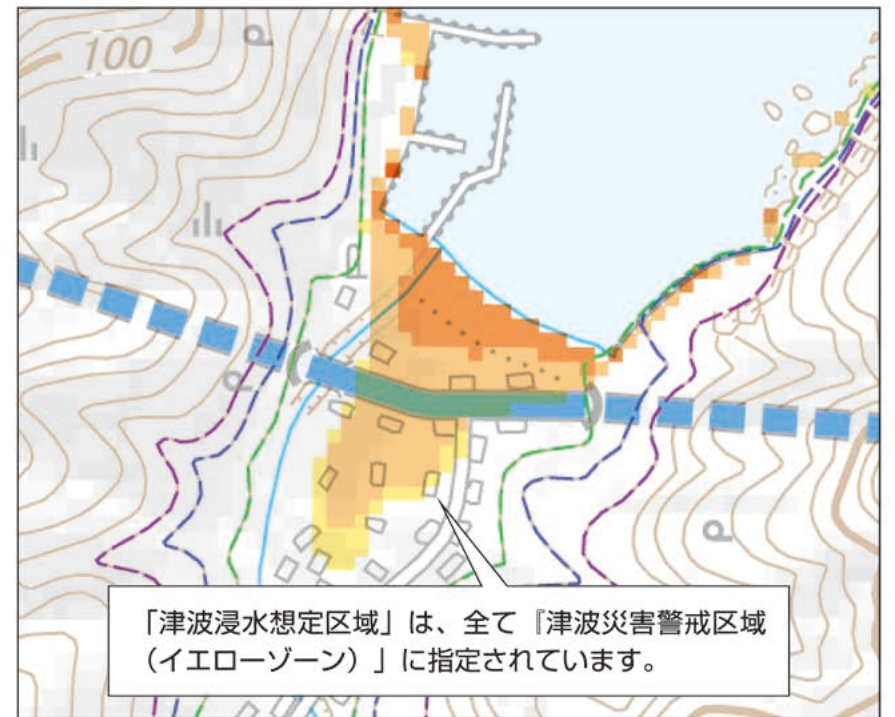
津波が発生するおそれがあり、避難する際に、避難すべき方向について記載(避難の経路を示しているものではありません。)



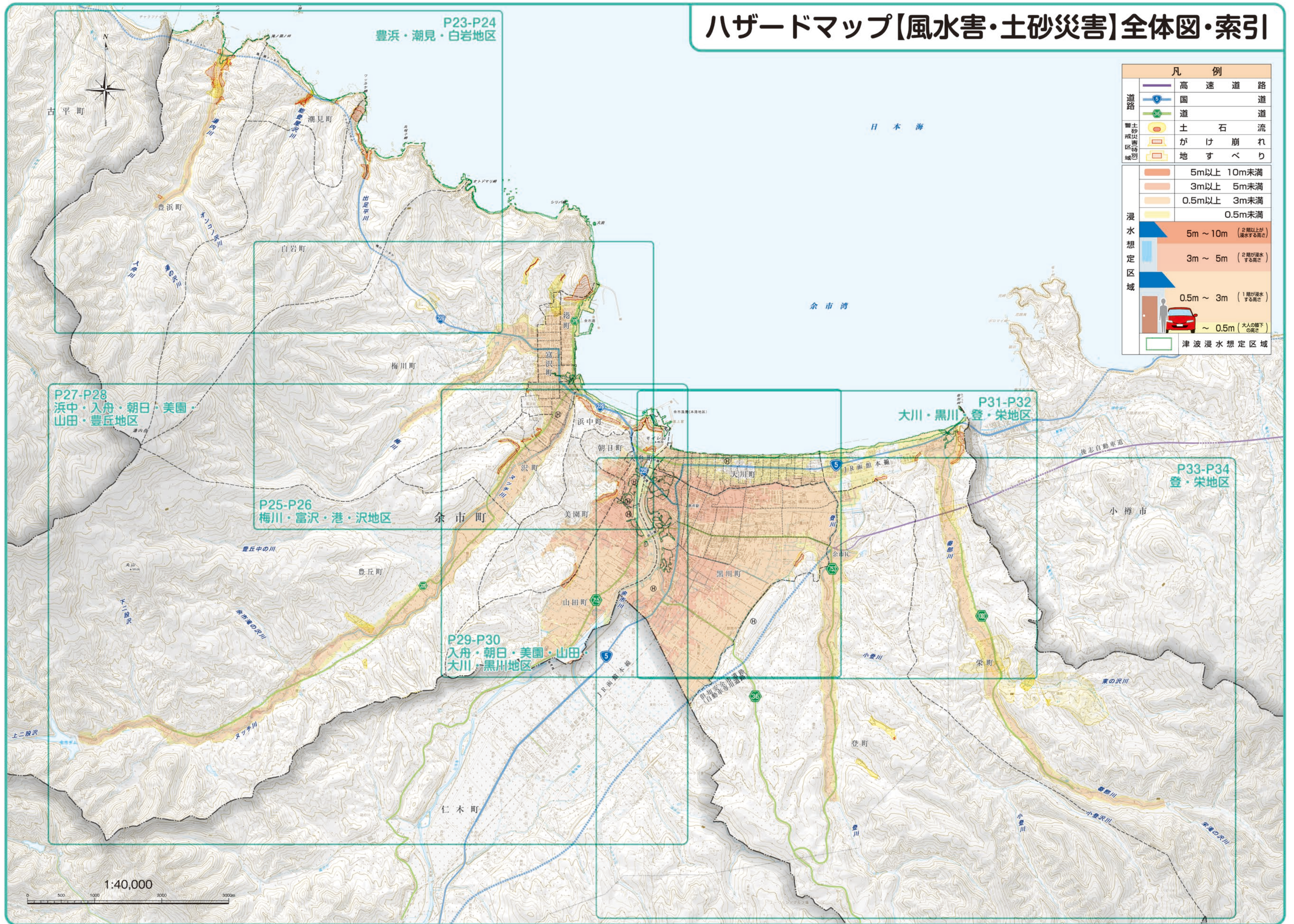
▶ 津波災害警戒区域(イエローゾーン)

「津波浸水想定区域」は、北海道による「津波災害警戒区域(イエローゾーン)」にも指定されています。これは、津波防災地域づくりに関する法律にもとづいたものです。

町では、この指定にもとづき、防災マップを更新して周知するなど、警戒避難体制の整備を図ります。

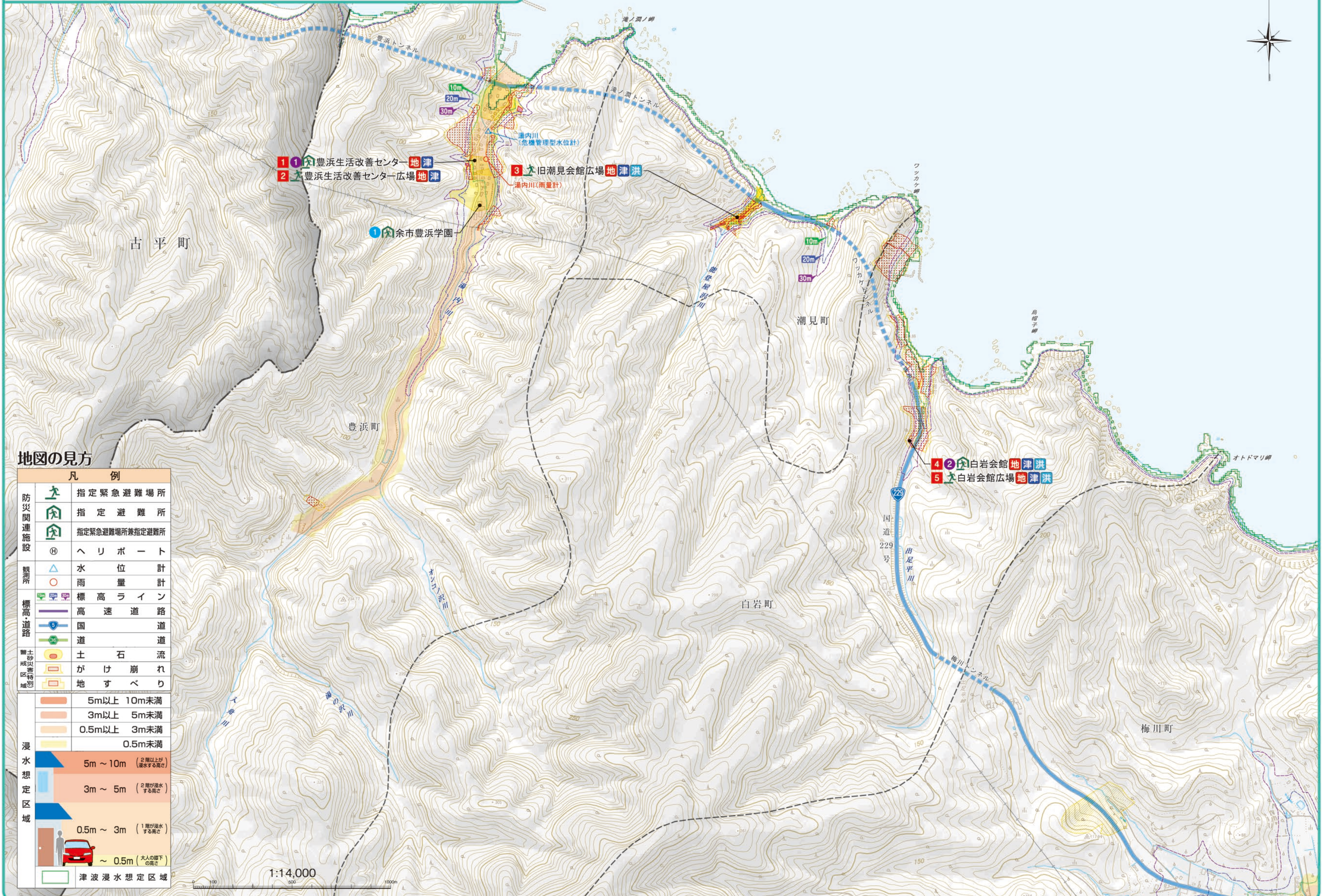


ハザードマップ【風水害・土砂災害】全体図・索引



凡 例	
道路	高速道路
	国道
	道 道
風水害 土砂災害 区域 種別	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
浸水 想定 区域	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が 浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水 する高さ)
0.5m ~ 3m (1階が浸水 する高さ)	
	~ 0.5m (大人の膝下 の高さ)
	津波浸水想定区域

豊浜・潮見・白岩地区(風水害・土砂災害)



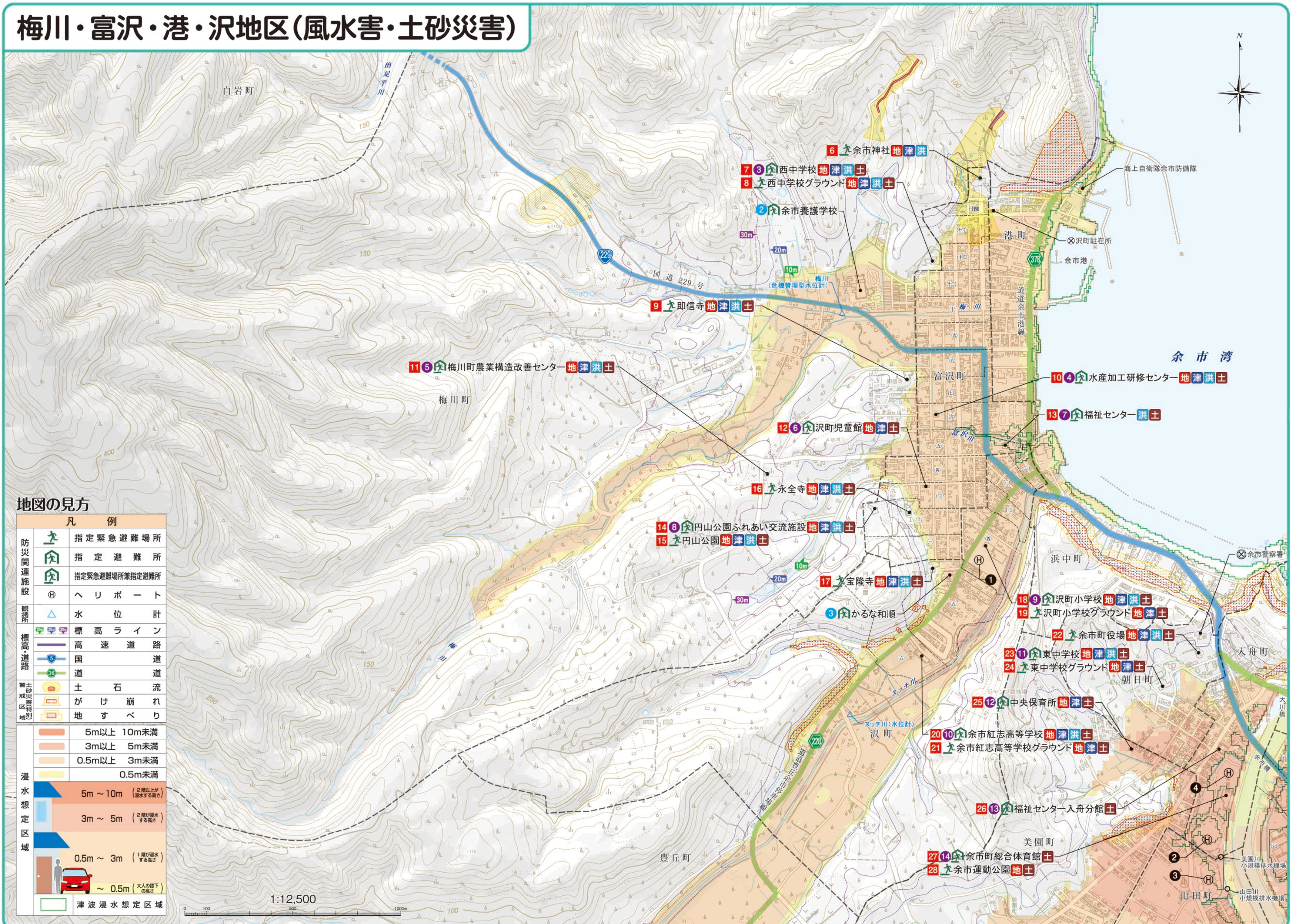
地図の見方

凡 例	
指定緊急避難場所	指定避難所
指定緊急避難場所兼指定避難所	ヘリポート
観測所	水位計
	雨量計
標高道路	標高ライン
	高速道路
	国道
	道
土砂災害特別警戒区域	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
浸水想定区域	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)
	津波浸水想定区域

1:14,000



梅川・富沢・港・沢地区(風水害・土砂災害)



地図の見方

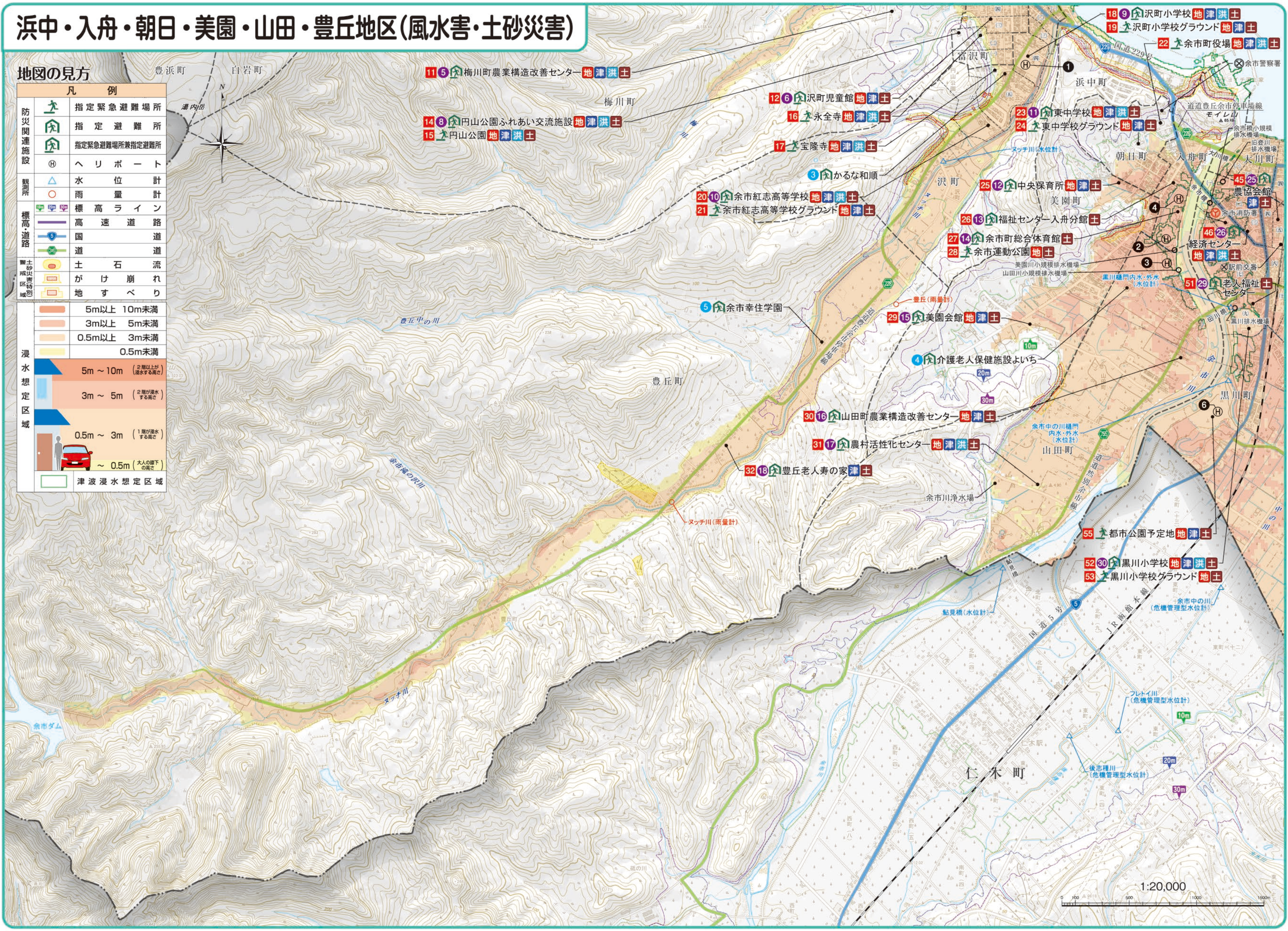
凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	ヘリポート
	水位計
	標高ライン
	高速道路
	国道
	道
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)
	津波浸水想定区域

1:12,500

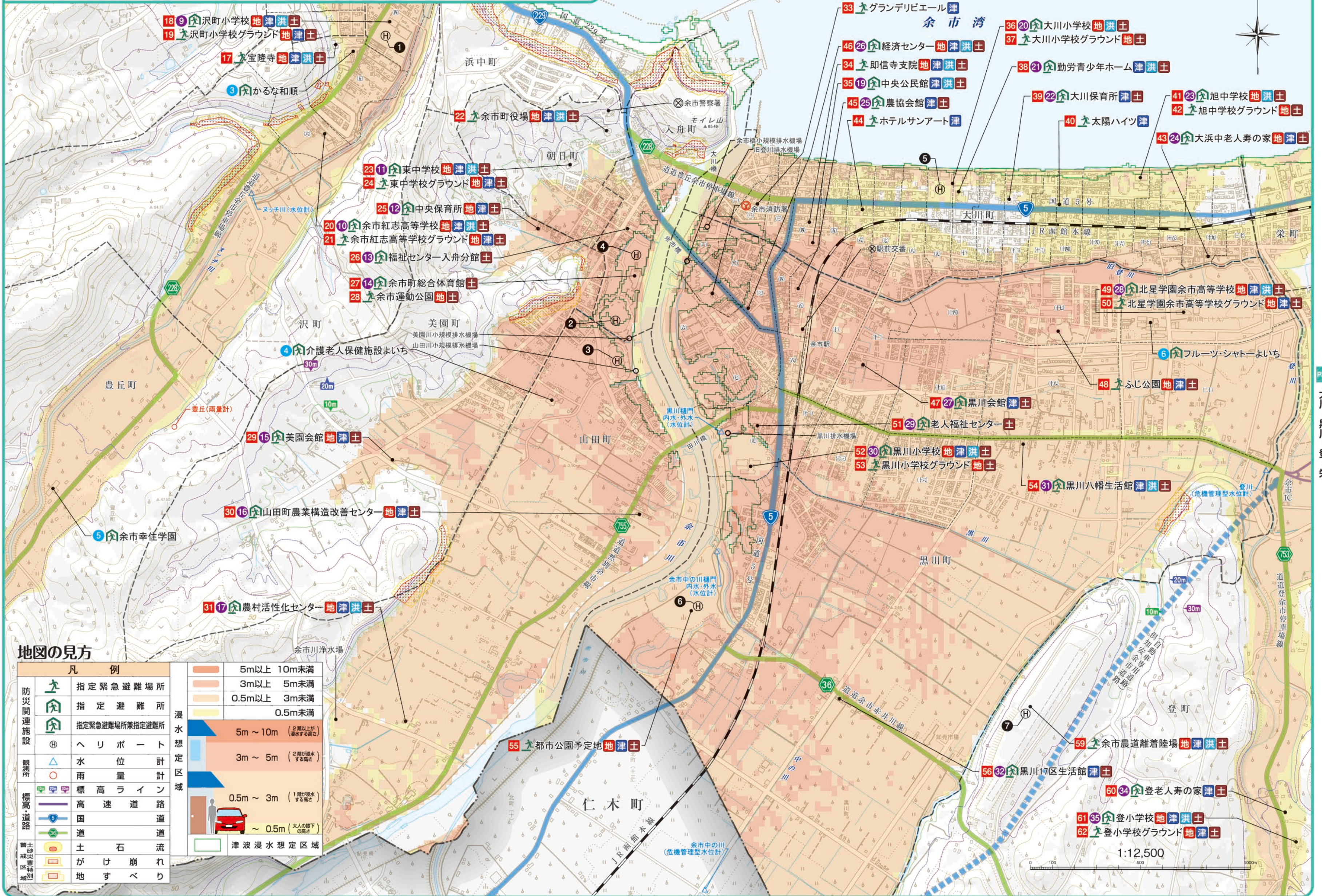
浜中・入舟・朝日・美園・山田・豊丘地区(風水害・土砂災害)

地図の見方

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	ヘリポート
	水位計
	雨量計
	標高ライン
	高速道路
	国道
	道道
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)
	津波浸水想定区域



入舟・朝日・美園・山田・大川・黒川地区(風水害・土砂災害)



地図の見方

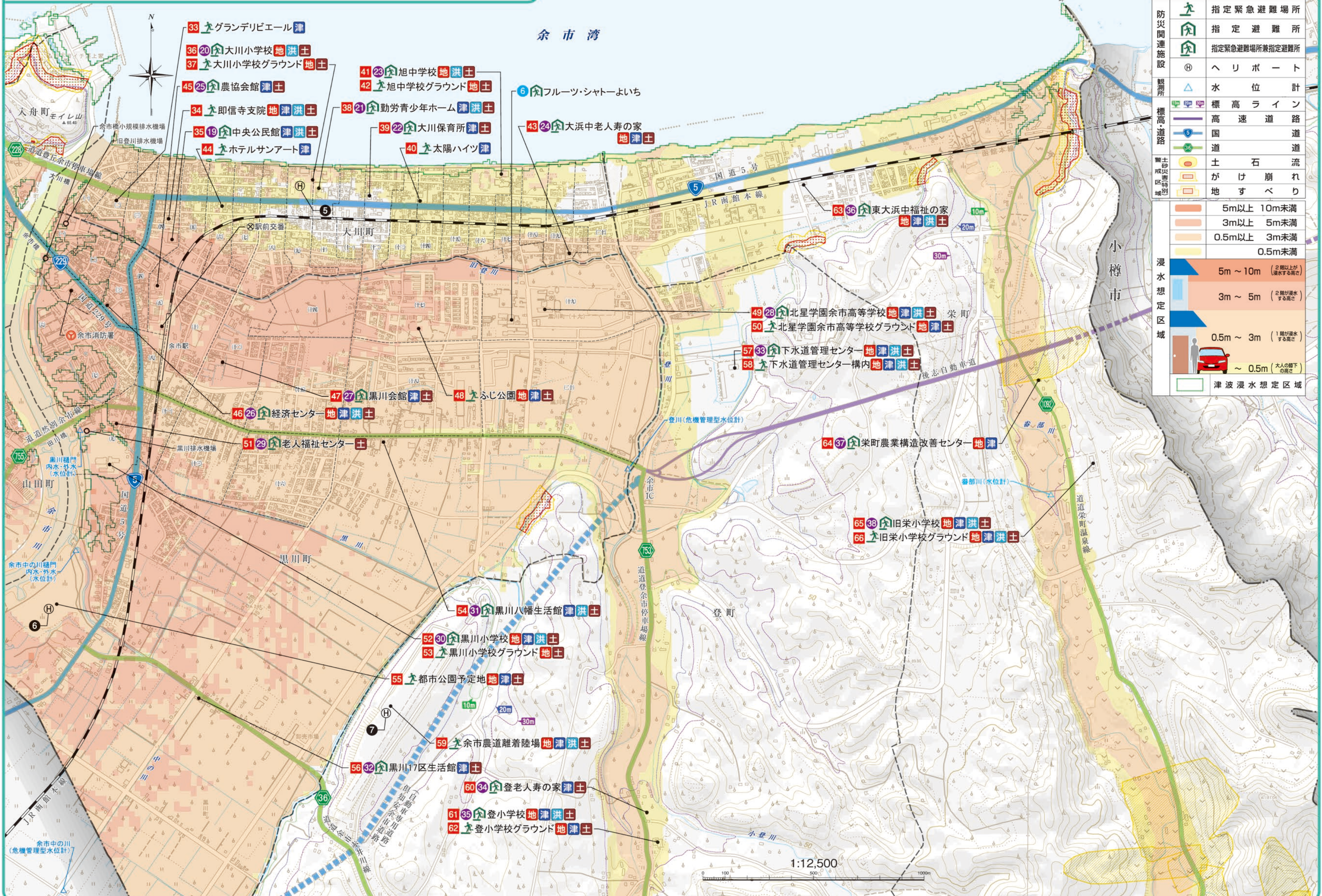
凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	ヘリポート
	水位計
	雨量計
	標高ライン
	高速道路
	国道
	道
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり

浸水想定区域	
	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)
	津波浸水想定区域

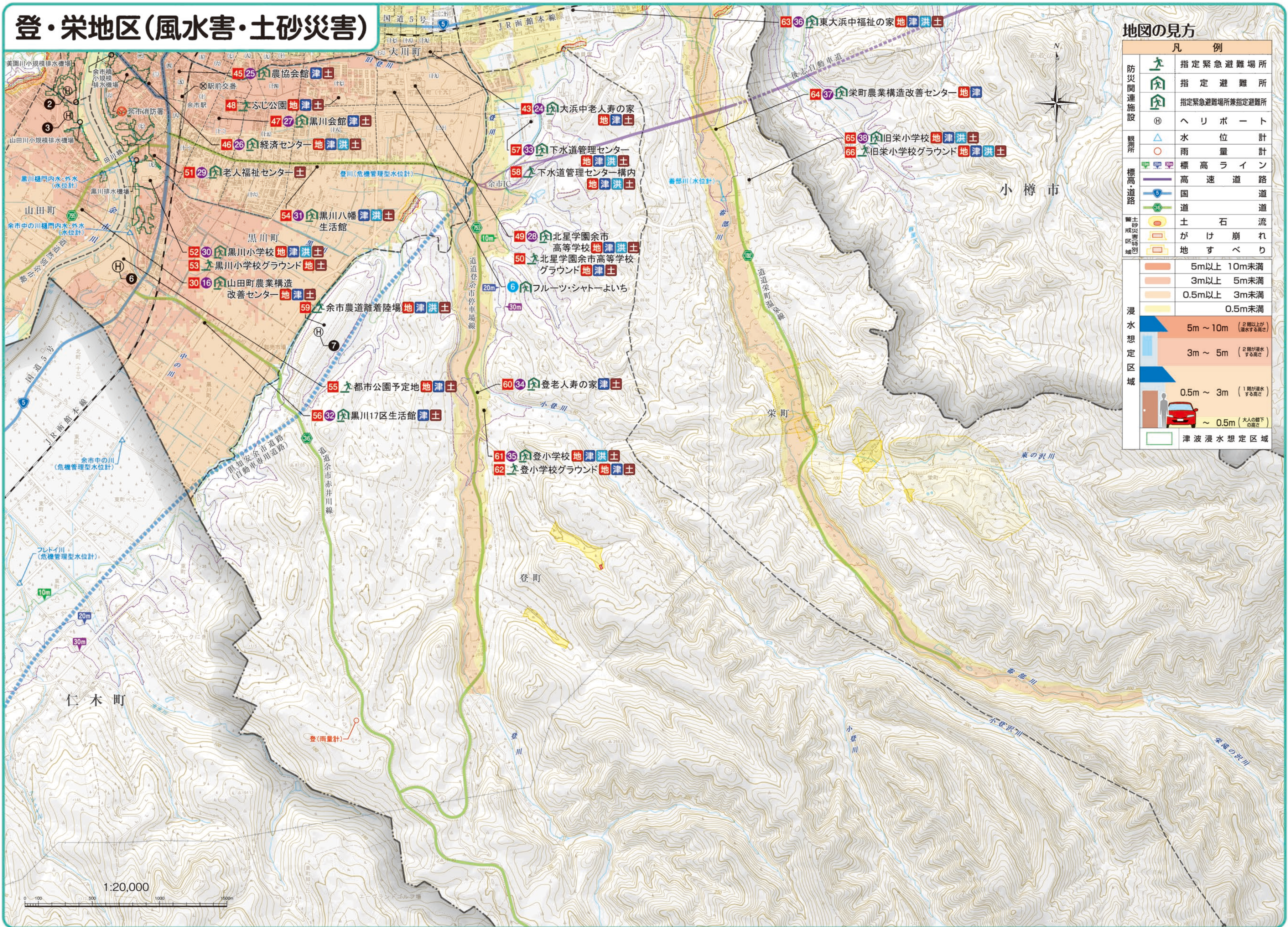
大川・黒川・登・栄地区(風水害・土砂災害)

地図の見方

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	ヘリポート
	水位計
	標高ライン
	高速道路
	国道
	道
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)
	津波浸水想定区域



登・栄地区(風水害・土砂災害)



地図の見方

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	ヘリポート
	水位計
	雨量計
	標高ライン
	高速道路
	国道
	道
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)
	津波浸水想定区域

ハザードマップ【地震・津波】全体図・索引

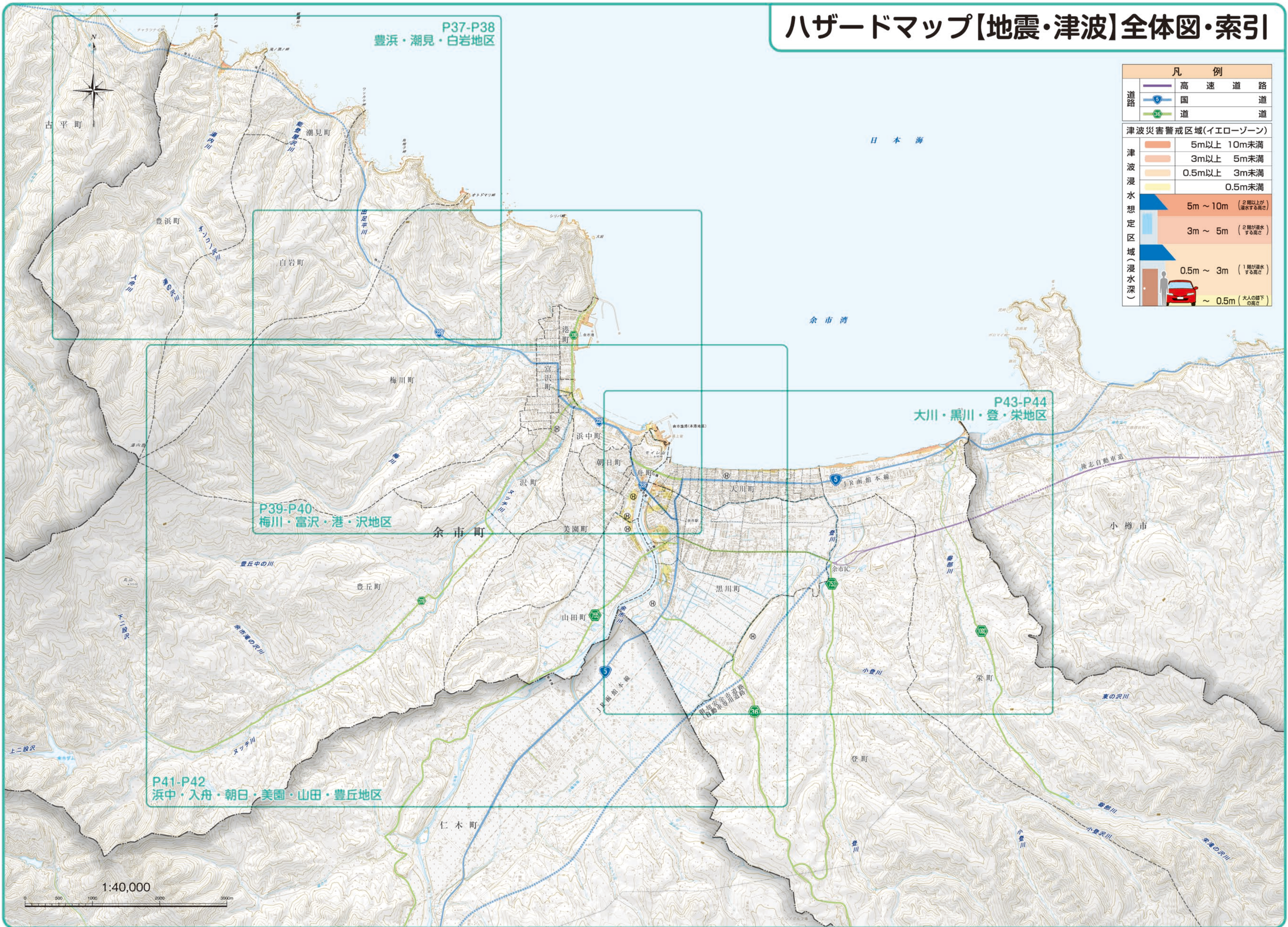
P37-P38
豊浜・潮見・白岩地区

P43-P44
大川・黒川・登・栄地区

P39-P40
梅川・富沢・港・沢地区

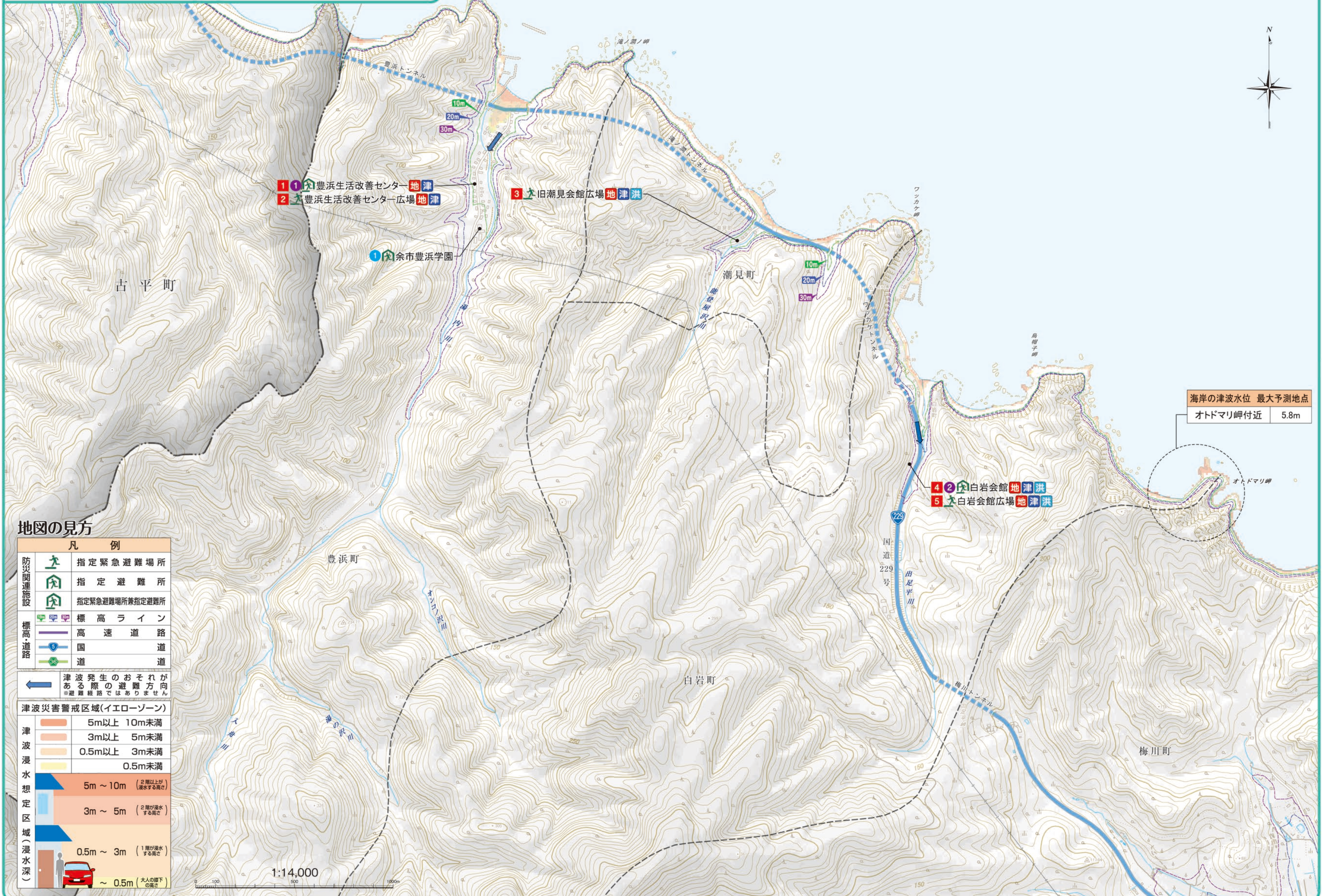
P41-P42
浜中・入舟・朝日・美園・山田・豊丘地区

凡 例	
道路	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路 国道 道
津波災害警戒区域(イエローゾーン)	
津波浸水想定区域(浸水深)	<ul style="list-style-type: none"> 5m以上 10m未満 3m以上 5m未満 0.5m以上 3m未満 0.5m未満
津波浸水想定区域(浸水深)	<ul style="list-style-type: none"> 5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ) 3m ~ 5m (2階が浸水する高さ) 0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ) ~ 0.5m (大人の膝下の高さ)



1:40,000

豊浜・潮見・白岩地区(地震・津波)

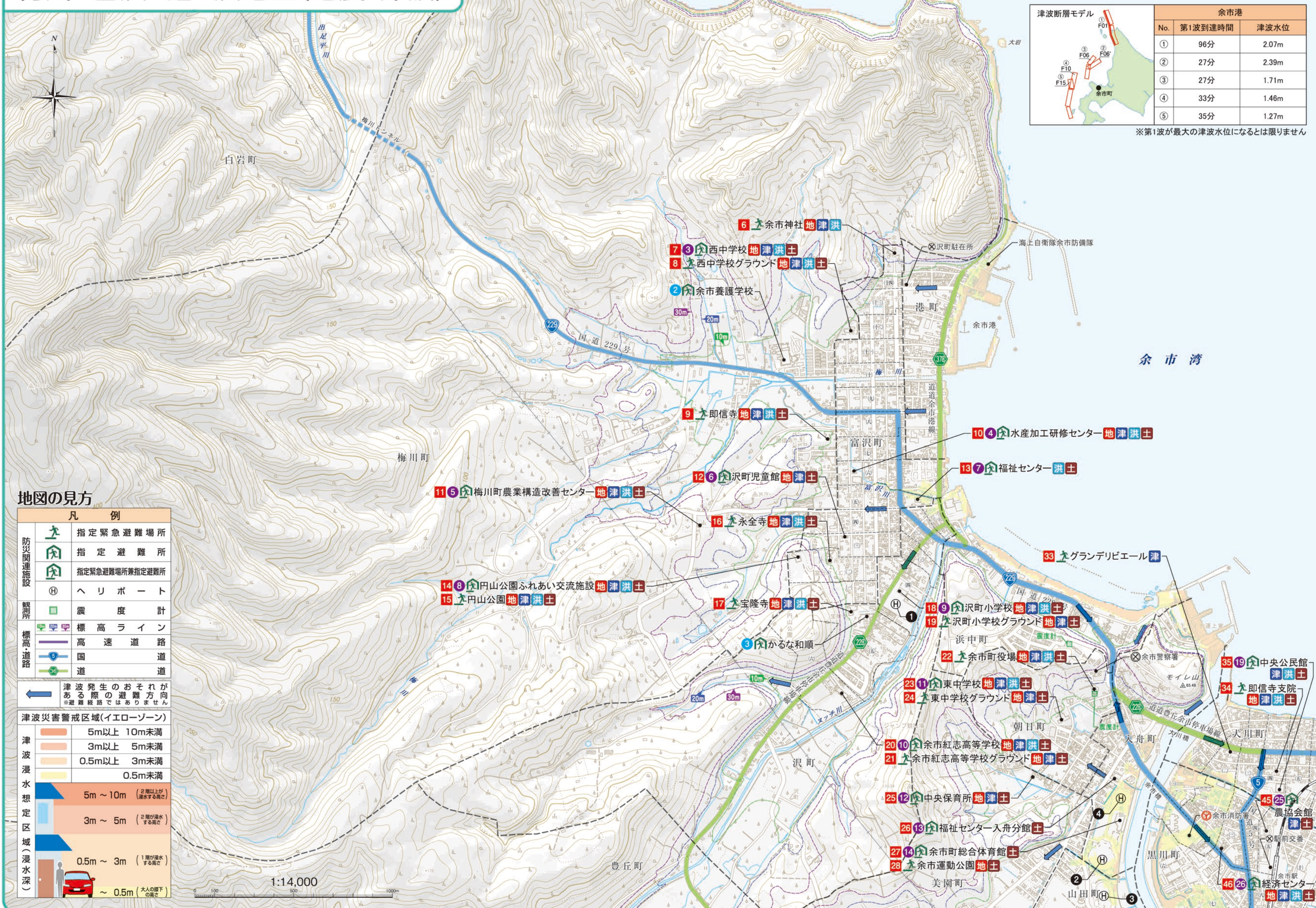


地図の見方

凡 例	
防災関連施設	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
標高道路	標高ライン
	高速道路
	国道
	道
津波発生のおそれがある際の避難方向 ※避難経路ではありません	
津波災害警戒区域(イエローゾーン)	
津波浸水想定区域(浸水深)	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)

海岸の津波水位 最大予測地点
オトマリ岬付近 5.8m

梅川・富沢・港・沢地区(地震・津波)



津波断層モデル

余市港		
No.	第1波到達時間	津波水位
①	96分	2.07m
②	27分	2.39m
③	27分	1.71m
④	33分	1.46m
⑤	35分	1.27m

※第1波が最大の津波水位になるとは限りません

地図の見方

凡 例

防災関連施設	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	ヘリポート
観測所	震度計
標高道路	標高ライン
	高速道路
	国道
	道道

津波発生のおそれがある際の避難方向
※避難経路ではありません

津波災害警戒区域(イエローゾーン)

5m以上 10m未満
3m以上 5m未満
0.5m以上 3m未満
0.5m未満

津波浸水想定区域(浸水深)

5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
~ 0.5m (大人の膝下の高さ)

浜中・入舟・朝日・美園・山田・豊丘地区(地震・津波)

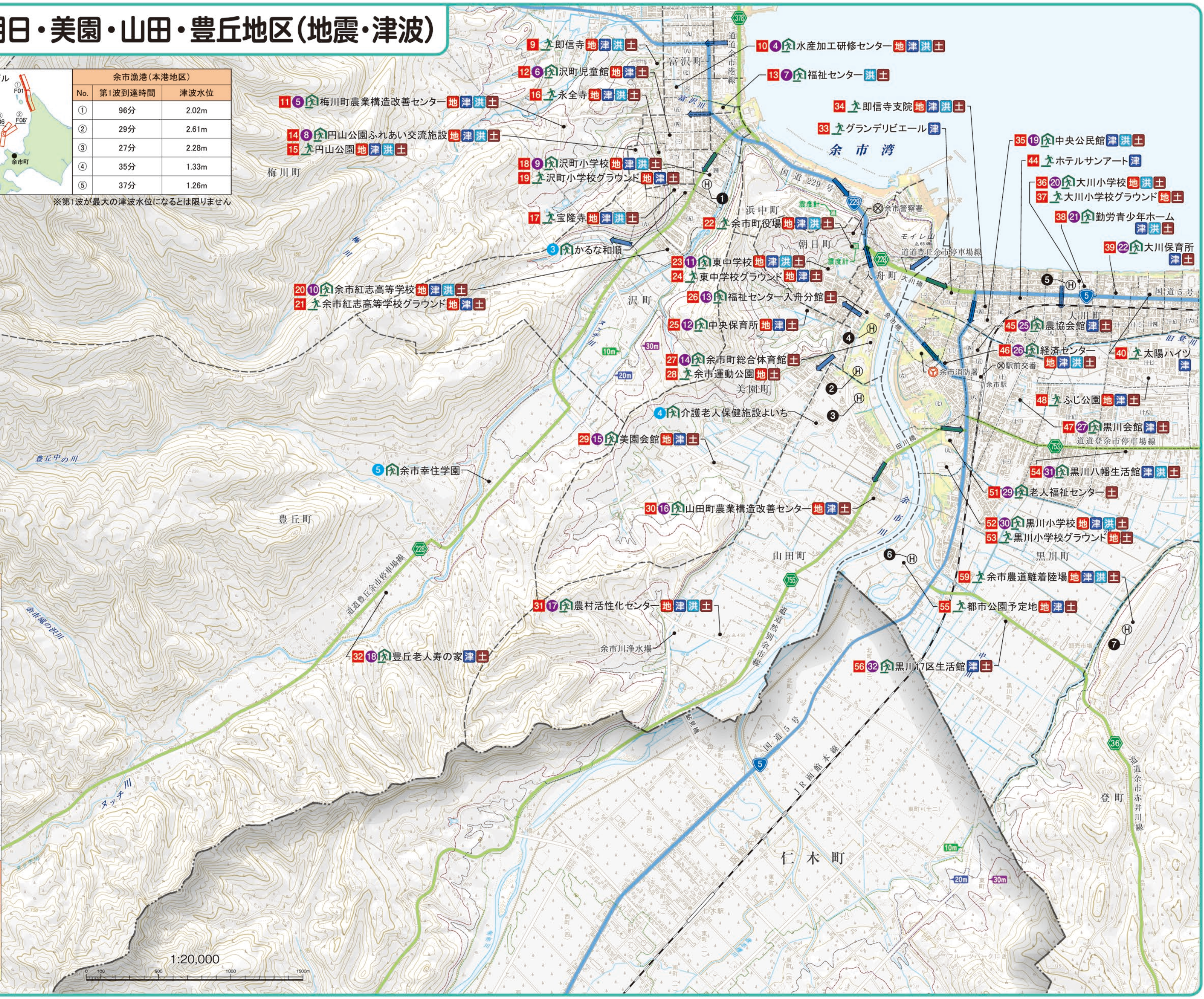
津波断層モデル

余市漁港(本港地区)		
No.	第1波到達時間	津波水位
①	96分	2.02m
②	29分	2.61m
③	27分	2.28m
④	35分	1.33m
⑤	37分	1.26m

※第1波が最大の津波水位になるとは限りません


地図の見方

凡 例	
指定緊急避難場所	指定避難所
指定緊急避難場所兼指定避難所	ヘリポート
観測所	震度計
標高ライン	高速道路
国道	道
津波発生のおそれがある際の避難方向	※避難経路ではありません
津波災害警戒区域(イエローゾーン)	
5m以上 10m未満	3m以上 5m未満
0.5m以上 3m未満	0.5m未満
5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)	~ 0.5m (大人の膝までの高さ)



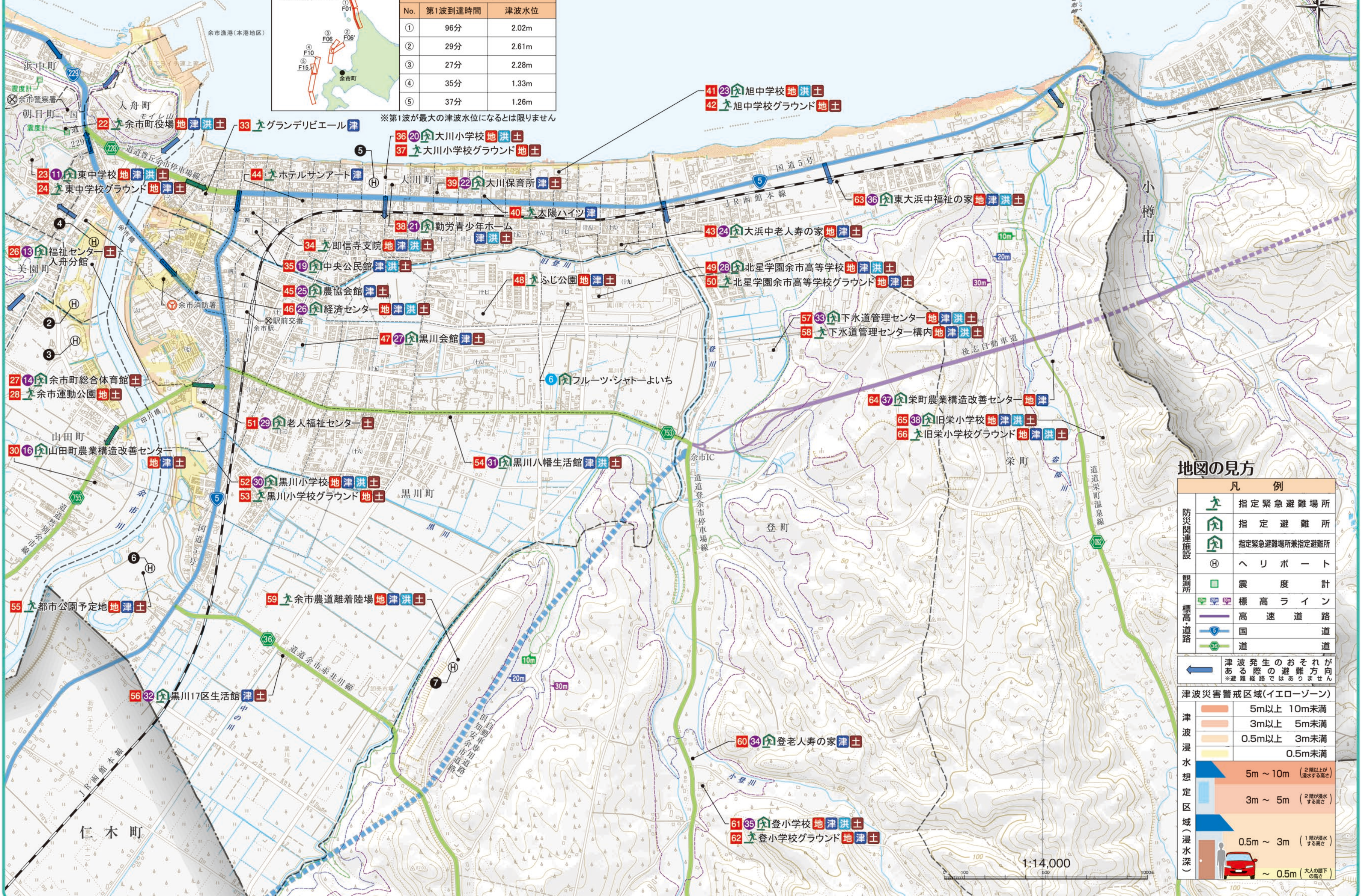
大川・黒川・登・栄地区(地震・津波)

津波断層モデル



余市漁港(本港地区)		
No.	第1波到達時間	津波水位
①	96分	2.02m
②	29分	2.61m
③	27分	2.28m
④	35分	1.33m
⑤	37分	1.26m

※第1波が最大の津波水位になるとは限りません



地図の見方

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	ヘリポート
	震 度 計
	標 高 ラ イ ン
	高 速 道 路
	国 道
	道
	津波発生のおそれがある際の避難方向 ※避難経路ではありません
津波災害警戒区域(イエローゾーン)	
	5m以上 10m未満
	3m以上 5m未満
	0.5m以上 3m未満
	0.5m未満
	5m ~ 10m (2階以上が浸水する高さ)
	3m ~ 5m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)

P41 浜中・入舟・朝日・美園・山田・豊丘

情報収集

情報入手手段

町から出される緊急の情報は、緊急速報メールや広報車などから届きます。避難情報、避難所の状況、災害時の危険箇所などはテレビ・ラジオやホームページを通して知ることができます。



緊急速報メール



広報車



個別訪問



テレビ・ラジオ



ホームページ

Yahoo! 防災アプリ

「余市町」を地点登録すると、スマートフォンやタブレットでさまざまな情報を入手できます。



余市町LINE公式アカウント

余市町では、ソーシャルネットワーキングサービス「LINE」の公式アカウントを活用し、災害時の緊急情報や防災情報などを発信します。是非、ご活用ください。



- ①【ホーム画面】→【右上の友だち追加】をタップします。
※●の箇所をタップします。
- ②【QRコード】をタップします。
- ③【QRコードリーダー】が自動で起動しますので、左記の【QRコード】を画面の四角表示の中に写るように合わせます。
- ④【QRコード】を読み込むと、画面に友だちが表示されますので、【追加】をタップすると登録完了です。

避難情報の種類

災害時には、町から災害情報や高齢者等避難、避難指示などを発信します。避難の呼びかけを受けたときは、速やかに命を守る行動を取りましょう。また、危険を感じた場合は自主的に避難しましょう。

高齢者等避難

- ・被害の発生する可能性が高まった状況です。
- ・高齢の方など、避難に時間のかかる人は避難を始めましょう。
- ・その他の人は避難の準備を始めましょう。

避難指示

- ・被害の発生する可能性が明らかに高い状況です。
- ・対象地域のすべての住民は、速やかに避難しましょう。
- ・間に合わない場合は、屋内で安全を確保してください。

気象庁ホームページ「キキクル」(危険度分布)で確認

資料提供 気象庁ホームページ



大雨・洪水警報の危険度分布「キキクル」は、大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

気象情報で注意報や警報が発表されるなど、大雨による災害が発生するおそれのあるときや、急に激しい雨が降ったときは、このページにアクセスすると、最新の情報を入手できます。大雨による土砂災害の危険度分布は「土砂キキクル」、短時間の強雨による浸水害の危険度分布は「浸水キキクル」、河川の洪水災害の危険度分布は「洪水キキクル」で、確認することができます。

5日先まで「警報級」の現象の可能性

気象庁発表の危険度分布	12-15	15-18	18-21	21-24	24-27	27-30	30-03	03-06	06-09	09-12	12-15
大雨	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
洪水	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
土砂災害	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
浸水	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

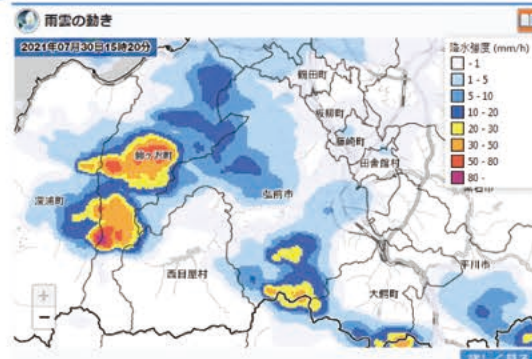
社会的な影響が大きい「警戒級」の現象の発生可能性を知ることができます。

今日明日 警戒すべき時間帯

危険度	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15
大雨	30	30	30						
洪水									
土砂災害									
浸水									

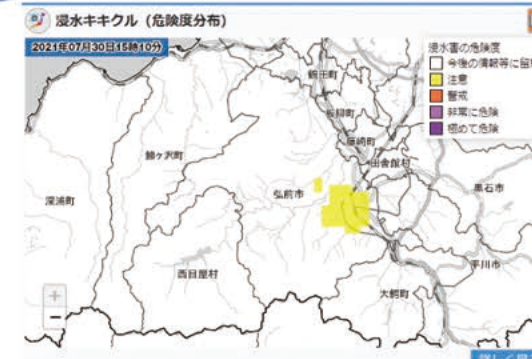
「警報」に切りかわる時刻や雨量・風速の予測を確認することができます。

今これから 雨雲の動き



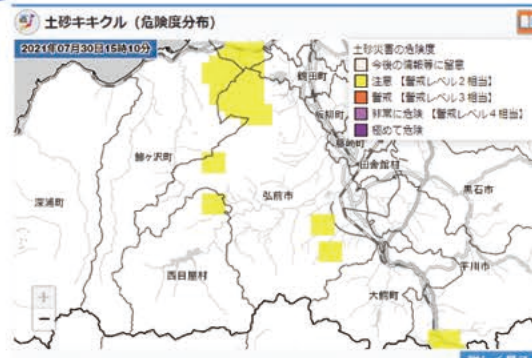
※参考事例：青森県弘前市（2021年7月30日）

今これから 浸水キキクル(危険度分布)



※参考事例：青森県弘前市（2021年7月30日）

今これから 土砂キキクル(危険度分布)



※参考事例：青森県弘前市（2021年7月30日）

今これから 洪水キキクル(危険度分布)



※参考事例：青森県弘前市（2021年7月30日）

停電の情報を入手

「LINE」で停電情報を入手できます！

エリア登録をすると、停電情報がLINEから送られて来ます。



←エリア登録をするための
お友だち追加はこちらから！

停電に関すること

北海道電力
余市ネットワークセンター
0120-060-593

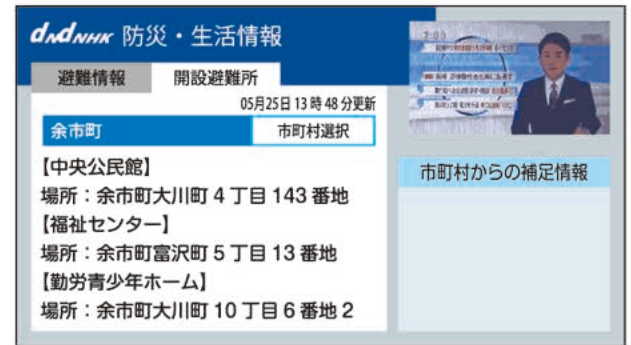
さまざまな災害情報の入手先

テレビで確認!

町からの避難指示や避難所の情報がNHKのデータ放送で確認できます!



NHKにチャンネルを合わせ、リモコンの「dボタン」を押します



※余市町が発信した情報は「Lアラート」というシステムを通して、テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネットなどで見ることができます。

パソコン・スマートフォン・携帯電話で確認!

情報	サイト	URL
気象情報	気象庁	https://www.jma.go.jp/ ※1
	札幌管区気象台	https://www.jma-net.go.jp/sapporo/
	日本気象協会	https://tenki.jp/
河川情報	川の防災情報	https://www.river.go.jp/ ※2
土砂情報	北海道土砂災害警戒情報システム	https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/ ※3
道路情報	道路情報提供システム	https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/
	ハイウェイ交通情報	https://ihighway.jp/pcsite/
	北の道ナビ	https://www.northern-road.jp/navi/
公共交通	JR北海道	https://www3.jrhokkaido.co.jp/webunkou/
ライフライン	ほくでん 停電情報	https://teiden-info.hepco.co.jp/
防災情報	北海道防災ポータル	https://www.bousai-hokkaido.jp/ ※4
	余市町ホームページ	https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/
	ヤフー防災速報 (アプリ)	https://emg.yahoo.co.jp/ ※5

QRコード

				
※1 「気象庁」	※2 「川の防災情報」	※3 「北海道土砂災害警戒情報システム」	※4 「北海道防災ポータル」	※5 「ヤフー防災速報」

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

余市町防災ガイドマップ

お問い合わせ先 余市町総務部総務課危機管理対策室防災係
電話：0135-21-2142 FAX：0135-21-2144



この冊子は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて作成しています。

防災ガイドマップの地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得ている。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 428」